

低温、中温 冷凍車

(ボデー:トヨタ車体、冷凍機:デンソー製)

DENSO デンソー冷凍機
夜間・休日サービス相談窓口
フリーダイヤル ☎ 0120-687-010
受付時間 平日 18:00～翌日9:00
土・日曜・祝日 9:00～翌日9:00

平日昼間のサービス相談につきましては、最寄りの販売店
またはデンソーサービス網までご連絡ください。

取 扱 書

よくお読みになってご使用ください。

取扱説明書は車の中に保管しましょう。

はじめに

このたびは低温、中温 冷凍車（ボデー：トヨタ車体制、冷凍機：デンソー製）をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書は冷凍車を安全・快適にお使いいただくため、冷凍車独自の装備に関して正しい取り扱いを説明してあります。

また、冷凍車装備の点検・手入れについても記載してありますので、ご使用前に必ずお読みください。

- 車両の一般的な取り扱いについては、標準車の「取扱説明書」（別冊）をご覧ください。
- 販売店で取り付けられた装備の取り扱いについては添付されている取扱説明書をご覧ください。
- 安全・快適にお使いいただくため「まず読みましょう」は重要ですのでしっかりお読みください。

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」とその回避方法を下記の表示で記載しています。これらは安全のために特に重要ですので、必ず読んで遵守してください。

 警告	記載事項をお守りいただかないと、生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあること
 注意	記載事項をお守りいただかないと、傷害、事故につながるおそれがあること

お車のために必ず守っていただきたいことや知っておくと便利なこと、してはならない行為を示すイラストは、下記の表示で記載しています。

 アドバイス	お車の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと お車が故障したときにしていただきたいこと
 知識	知っておくと便利なこと 知っておいていただきたいこと
	してはならない行為

- 本書では、新計量法の施行に伴い国際単位系（略称 SI 単位）を基本に掲載し、従来単位を { } 内に記載してあります。

- ・ お車をゆずられるときは次のオーナーのために本書をお車につけておいてください。
- ・ ご不明な点は担当営業スタッフにおたずねください。

CONTENTS (目次)

まず読みましょう	2
-----------------------	----------

上手な使い方	5
---------------------	----------

各部の名称.....	8
-------------------	----------

冷凍装置の使い方	11
-----------------------	-----------

コントロールパネル.....	11
スタンバイ装置	29

専用装置、装備の使い方.....	37
-------------------------	-----------

バックドア	37
半ドア警告灯	40
ルームランプ	41
非常警報ブザー	41
水抜き穴および水抜きホース	42
アイドルストップシステムについて.....	42

手入れ、点検・整備項目.....	43
-------------------------	-----------

定期点検整備	43
定期交換部品	49
消耗部品	49
簡単な点検	50
車の手入れ	55

デンスーサービス網	57
------------------------	-----------

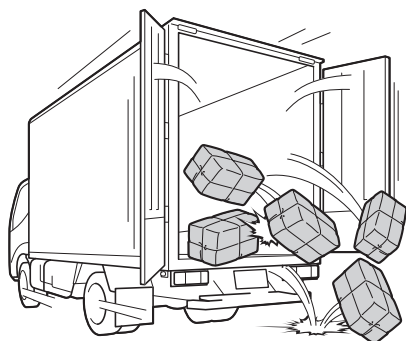
定期点検整備記録簿	67
------------------------	-----------

まず読みましょう

確認しましたか？

走行前にバックドアが確実にロックされていることを確認してください。

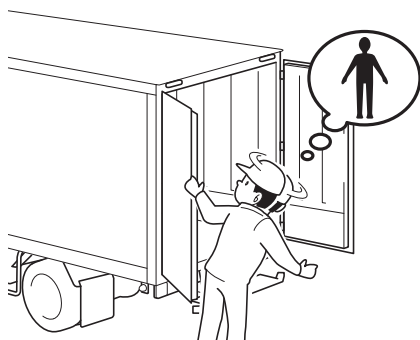
確実にロックされていないと、走行中にドアが開き、積荷の落下など思わぬ事故につながるおそれがあります。



危険です！

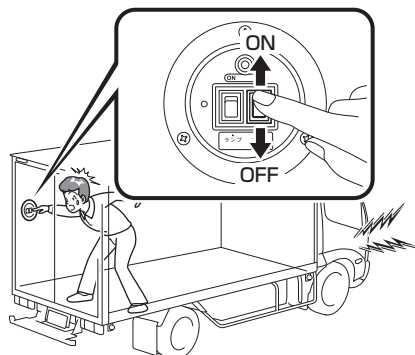
バックドアを閉めるときは、必ず荷室内に人がいないことを確認してください。

荷室内に人が閉じこめられると、中からドアを開けることができず、重大な事故につながるおそれがあり危険です。



非常警報ブザーが作動すること（スイッチ「ON」でホーンが鳴ること）を運行前に確認してください。

装置が正常に作動しないと、万一、荷室内に人が閉じこめられたとき、外部に知らせることができず、重大な事故につながるおそれがあり危険です。



作業時には必ずドアをドアストッパで固定してください。

固定しないと風などにより、不意にドアが動いたり、傾斜地では自然にドアが動くことがあり、けがをするおそれがあります。



ルーフ上にのぼらないでください。

ボデーの損傷やルーフからの転落など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 積雪時、ルーフにのぼっての雪かきは絶対に行わないでください。
- 除雪するときは水をかけるなどして、雪を溶かしてください。



気を付けて

荷室内に乗り込んで作業するときは、滑りにくい靴などをはいてください。

荷室内は水などで濡れていると滑りやすいため、転倒するおそれがあり危険です。滑りにくい靴をはき、水や雪を十分落としてから作業してください。



走行するときは

走行時はスピードを控えめにし、やむを得ない場合以外は、急ブレーキ、急ハンドルはしないでください。

- スピードを出し過ぎていると急な横風によりハンドルを取られ、重大な事故につながるおそれがあり危険です。強風下での走行時も注意してください。
- 急ブレーキ、急ハンドルは荷くずれ、積荷の移動、落下のもととなり、積荷の破損の原因になります。
 - ・走行時は積荷が滑ったり移動しやすいため、角のとがった荷物を積むような場合は、必要に応じフロアにマットやスノコを敷くと効果的です。



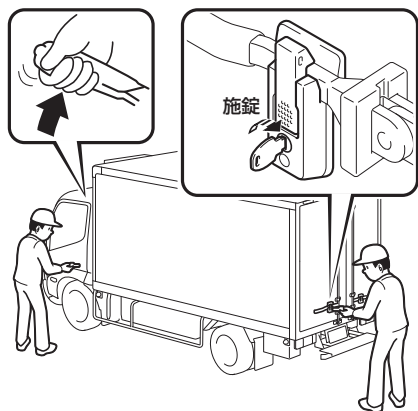
後退するときは車両後方の安全を十分確認してください。

冷凍車は標準車に比べて車両後方が見えにくくなっています。後方確認をおこたると重大な事故に繋がるおそれがあり危険です。

車から離れるときは

パーキングブレーキをかけ、必ずエンジンを停止し、荷室内に人がいないことを確認し、バックドアを施錠してください。

- 無人で車が動き出したり、盗難のおそれがあります。
- 誤って荷室内に人が閉じこめられると、中からドアを開けることができず、重大な事故につながるおそれがあり危険です。
- 施錠していても車内に貴重品をおいたままにしないでください。



廃車するときは

廃車・解体が終わるまでの間、やむを得ずお車を放置される場合は、バックドアを施錠するか、バックドアを取りはずしてください。

荷室内に人が閉じ込められると、中からドアを開けることができず、重大な事故につながるおそれがあり危険です。

分解・改造の禁止

お車は絶対に分解したり、改造したりしないでください。

性能低下や故障、場合によっては重大な事故につながるおそれがあり危険です。

- 分解・修理が必要な場合は、販売店またはデンソーサービス網にご相談ください。

外板について

パネル外板に過度な熱加工を加えるとパネル内の断熱材に悪影響をおよぼし性能低下やパネル変形のおそれがあります。

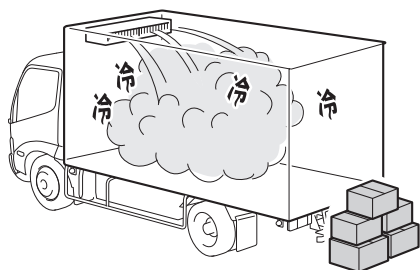
塗装やステッカー（マーク）の貼付けが必要な場合は、販売店にご相談ください。

上手な使い方

荷物を積むときは

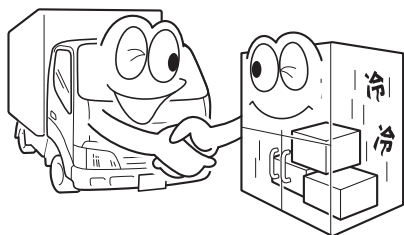
荷物を積む前に荷室内を十分冷やしてください。

荷室内が必要温度に冷える前に荷物を積み込むと、荷物の温度が上昇する場合があります。



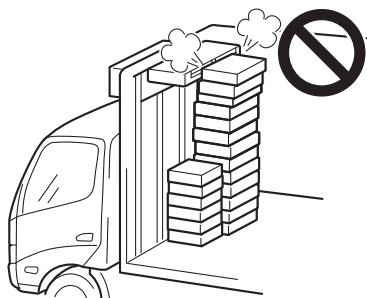
荷物はあらかじめ適温に冷やしてください。

荷物を積み込む場合は、他の冷凍機などで十分に荷物の温度を適温まで下げてからご使用ください。冷やされていない荷物（空の入れ物等を含む）を積み込むと、設定温度まで庫内が冷やされないことがあります。

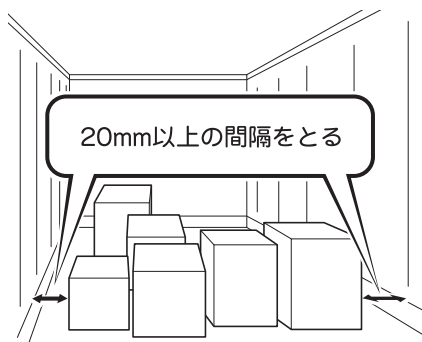


効率よく冷却するため、下記の注意事項を守って荷物を積んでください。

荷物をクーリングユニットの吹き出し口の高さより上に積まない。



- 冷気の循環がさまたげられないように、荷物と壁面の間は適度な間隔（20mm以上）をとる。



ドアの開閉はすばやく

1 回のドアの開閉でも荷室内の温度が上昇します。

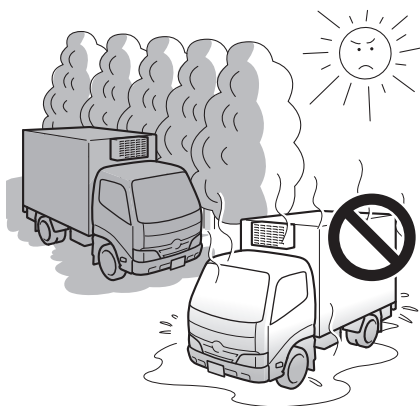
- ドアの開閉はすばやく行い、少しでも冷気が逃げないようにしてください。
- ドアの開閉回数が多いときやドアを開けている時間が長くなってしまうと、荷物の温度が維持できなくなります。



駐停車するときは

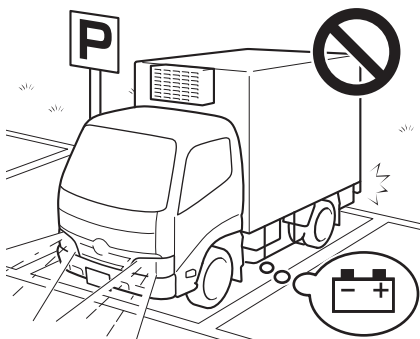
駐停車は日陰で行ってください。

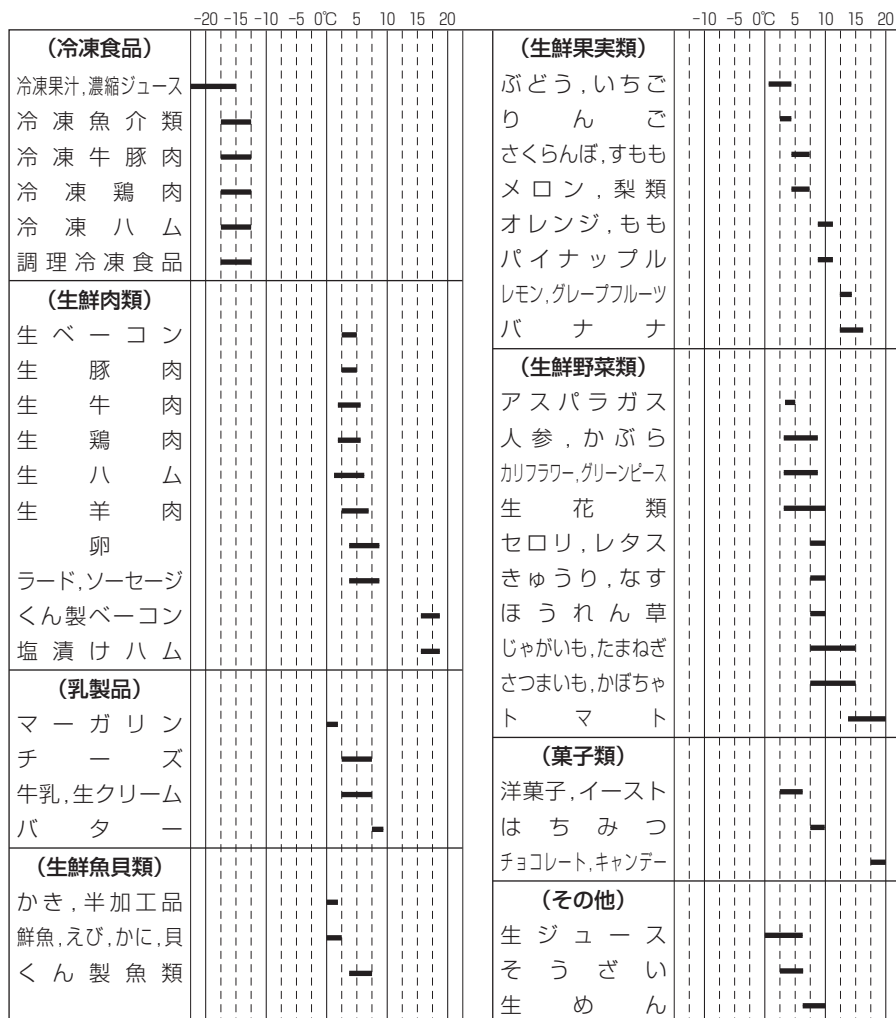
駐停車中の直射日光は、保冷ボデーの外板を熱し、壁面からの熱の侵入を増大させます。保管場所、休憩時の駐車、荷物の積み込み、積みおろし作業などでもできるだけ日陰を選び、熱の侵入を防いでください。



駐停車時、必要以外にランプ類やエアコン、ヒーターなどを使用しないでください。

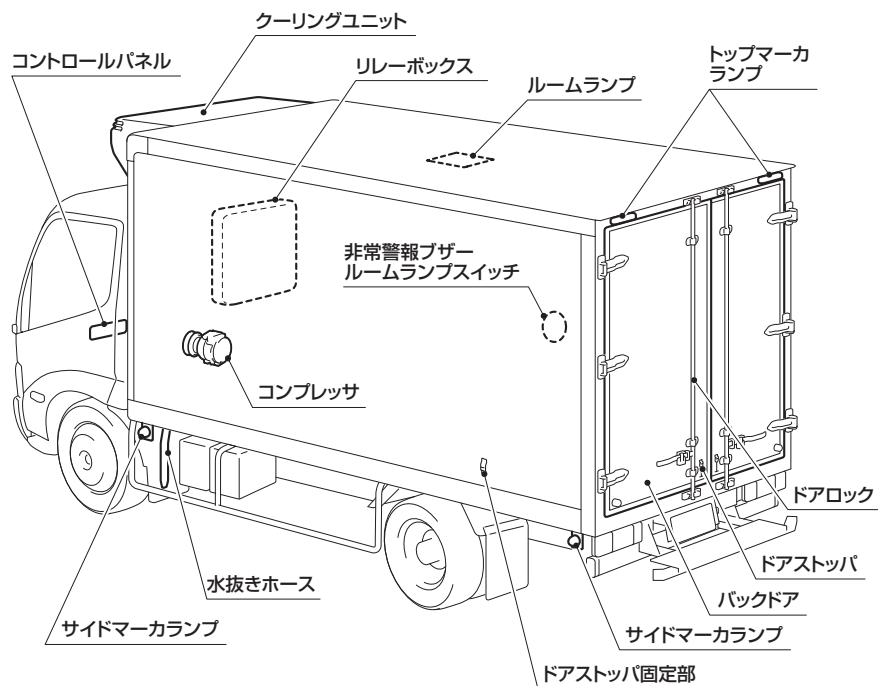
冷凍車は常にたくさんの電気を消費していますので、必要なとき以外にランプやエアコン、ヒーターなどをつけたままにしないでください。バッテリーあがりの原因になります。



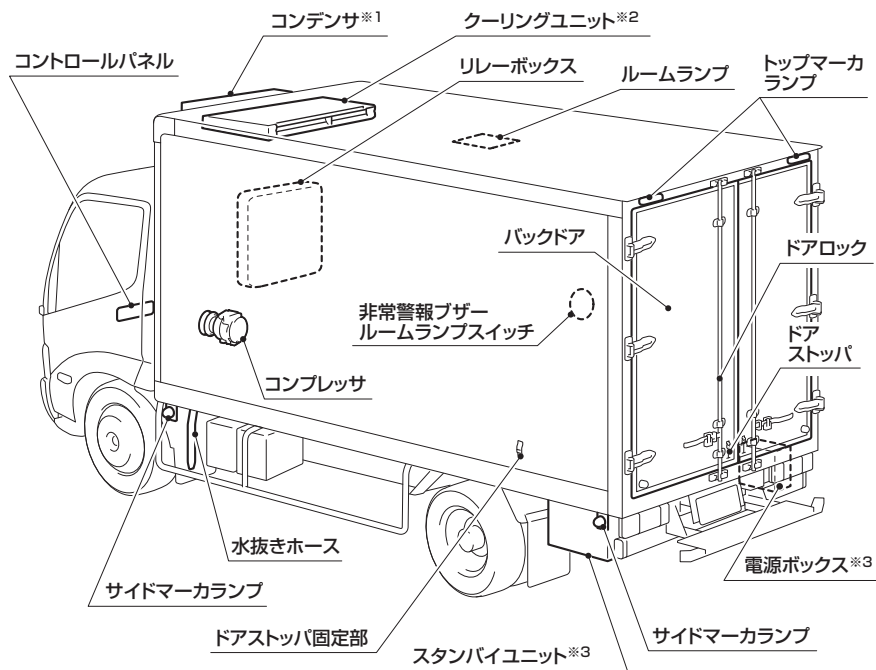


各部の名称

パッケージ型冷凍機搭載車



セパレート型冷凍機搭載車<1 ナンバークラス>

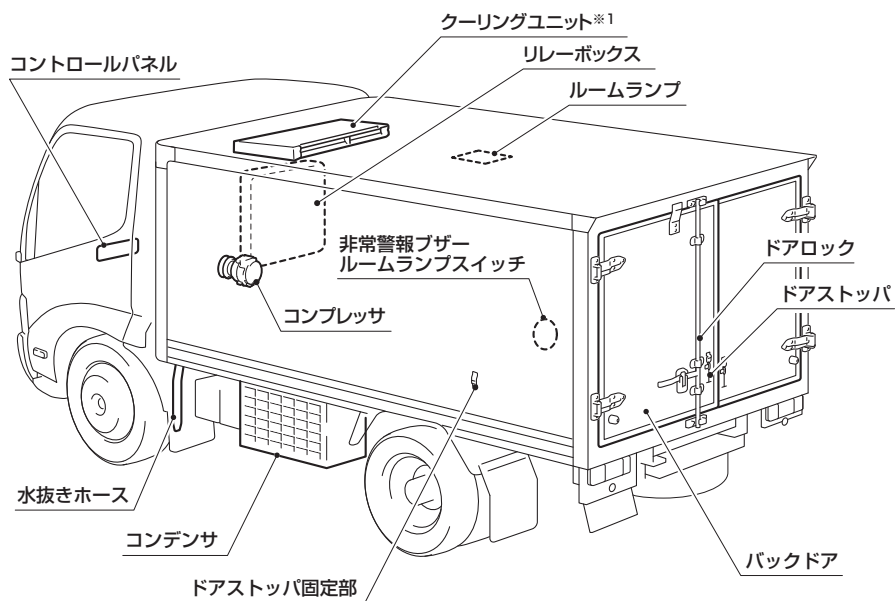


※ 1：車種によって、コンデンサの位置および形状が異なります。

※ 2：冷凍機によって、クーリングユニットの形状が異なります。

※ 3：スタンバイユニット、電源ボックスはスタンバイ仕様のみ装備されます。

セパレート型冷凍機搭載車<4ナンバークラス>



※ 1 : 冷凍機によって、クーリングユニットの形状が異なります。

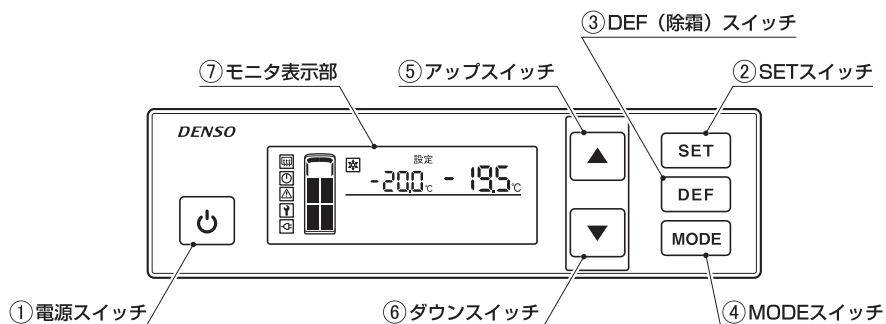
冷凍装置の使い方

コントロールパネル

インストルメントパネルのコントロールパネルで庫内の冷凍の設定ができます。

■各部の名称・機能

各スイッチ操作時、ブザーが鳴ります。



名 称	機 能
① 電源スイッチ	冷凍機の運転、停止の切替を行います。
② SET スイッチ	動作などの確定を行います。
③ DEF (除霜) スイッチ	手動で霜取りを行うときに使用します。
④ MODE スイッチ	画面表示モードの切替などを行います。
⑤ アップスイッチ	温度設定の切替などを行います。
⑥ ダウンスイッチ	温度設定の切替などを行います。
⑦ モニタ表示部	庫内温度、設定温度、運転状態などを表示します。

■ モニタ表示部の説明

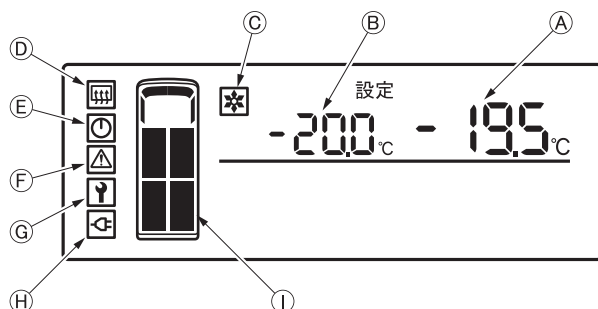
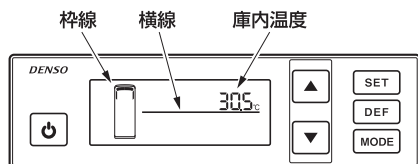


表 示		説 明
①	- 19.5	庫内温度を表示します。(表示可能範囲：～ 35℃)
②	-20.0	設定温度を表示します。
③	❄	冷凍運転中・冷蔵運転中・保冷中に点灯します。
④	☄	除霜運転中に点灯します。
⑤	⏻	スタンバイタイマー設定時に点灯します。
⑥	⚠	異常発生中に点灯または点滅します。
⑦	🔧	メンテナンスが必要になると点灯します。 (工場出荷時は設定が非表示のため点灯しません)
⑧	🔌	外部電源が接続(通電)されているとき、スタンバイ運転中およびタイマー操作中に点灯します。バッテリー電源と外部電源が同時に供給された場合は点滅します。
⑨	🧊	冷凍機の運転中に点灯します。 (以降のページでは「庫内インジケータ」と記載します)

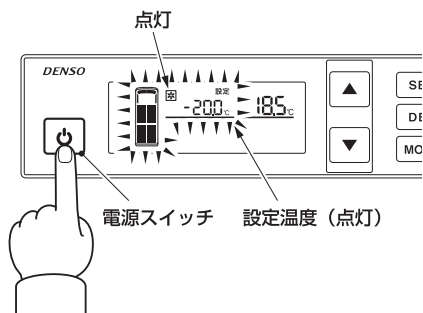
■冷凍機停止状態

冷凍機停止中は、庫内インジケータの枠線と横線と庫内温度を表示し、バックライト（緑色）が点灯します。



■冷凍機運転のしかた

- 1 エンジンを始動し、十分に暖機運転します。
- 2 電源スイッチを押して「ON」にします。
 - モニタ表示部が緑色になり、設定温度・が点灯し、冷凍機が作動します。



知識

- 電源スイッチを押して「ON」にしたときの設定温度は、前回冷凍機を使用したときの設定温度になります。
- 中温冷凍車で、気温が低い（0℃以下）とき、電源スイッチを押して「ON」にした場合、庫内インジケータが点滅し、冷凍機が作動しない場合があります。この場合、気温が0℃以上になると、自動的に庫内インジケータが点灯し、冷凍機が作動します。
- 圧力異常（ガスもれ、高圧）、クーリングモータヒューズ切れ、コンデンサモータヒューズ切れおよび庫内サーミスタ異常があると庫内インジケータが点滅します。販売店またはデンソーサービス網で点検を受けてください。

■冷凍機停止のしかた

電源スイッチを押して「OFF」にします。

- モニタ表示部が「■冷凍機停止状態」にもどり、冷凍機が停止します。

アドバイス

1 週間以上冷凍機を使用しなかった場合は、再使用時にアイドリング回転で5 分間以上慣らし運転を実施してください。慣らし運転をおこなると冷凍用コンプレッサが潤滑不足を起こし故障するおそれがあります。

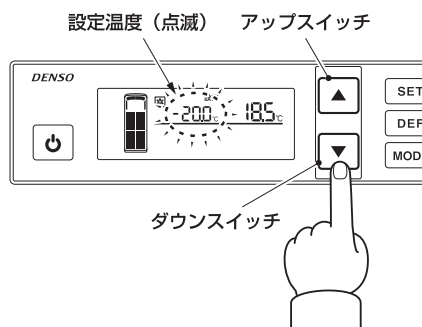
知識

電源スイッチを「OFF」にしてからエンジンを停止してください。次にエンジンを始動するとき、始動が容易にできます。

■庫内温度設定変更のしかた

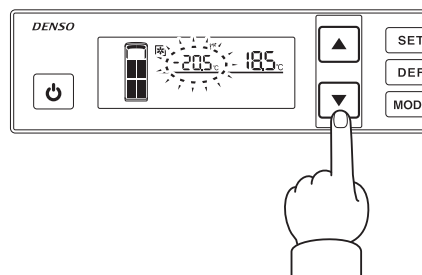
- 1 冷凍機運転中にアップスイッチ▲またはダウンスイッチ▼のどちらかを1回押します。

●設定温度が点滅し、変更モードになります。



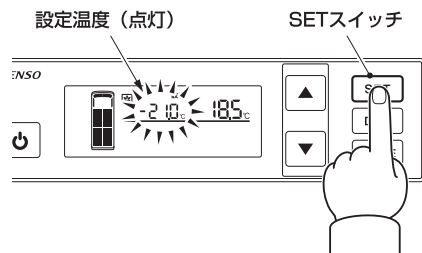
- 2 設定温度が点滅中にアップスイッチ▲またはダウンスイッチ▼を押し、設定温度を変更します。

▲ 1 回押すと 0.5°C 上昇
▼ 1 回押すと 0.5°C 下降



- 3 ご希望の設定温度になったら SET スイッチを押します。

●設定温度が点滅から点灯に変わり、設定変更が完了します。



知識

- SET スイッチを押さないと変更が確定しないため、必ず SET スイッチを押してください。
- 設定温度が点滅の状態で約 5 秒間経過すると、設定変更前の状態にもどります。

■設定温度メモリの使い方

このコントロールパネルは 3 つの設定温度を記憶するメモリ機能を持っています。

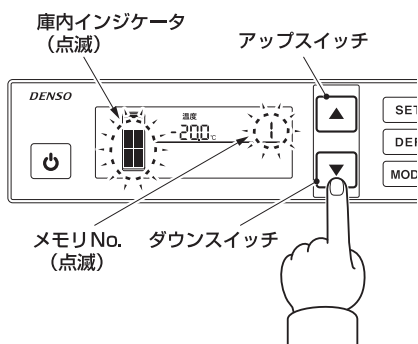
工場出荷（冷凍機取付完了）時には各メモリが下記のように設定されています。（初期はメモリ 1 で運転します）

温度帯 モード	設定温度 範囲	初期設定温度データ		
		メモリ 1	メモリ 2	メモリ 3
低温冷凍	-22~35℃	-20℃	-20℃	0℃
中温冷凍	-7~35℃	-5℃	0℃	5℃

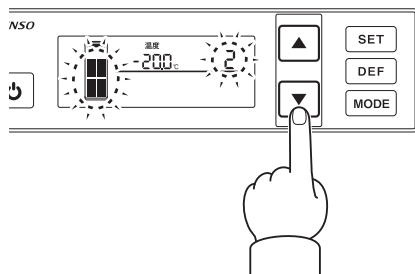
メモリの呼び出し・設定は冷凍機停止状態（13 ページ参照）およびエンジンスイッチ ON の状態で行います。

- 1 アップスイッチ▲またはダウンスイッチ▼のどちらかを 1 回押します。

●設定温度が点灯し、メモリ No. と庫内インジケータが点滅し、変更モードになります。

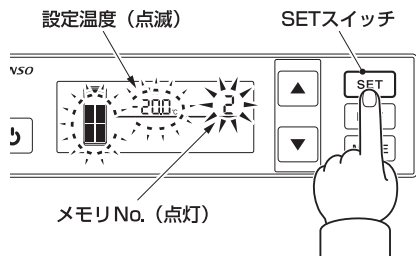


- 2 メモリ No. が点滅中にアップスイッチ▲またはダウンスイッチ▼を押し、メモリ No. を変更します。
 ▲ 前に記憶されているメモリ No.
 ▼ 次に記憶されているメモリ No.

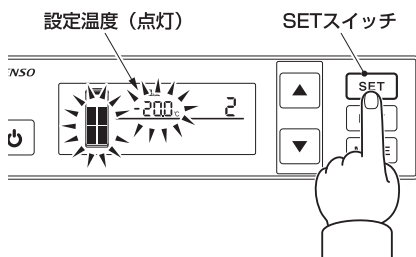


- 3 ご希望の温度のメモリ No. になったら SET スイッチを押します。

●メモリ No. が点滅から点灯に変わり、設定温度が点滅します。



- 4 再度、SET スイッチを押します。
●設定温度と庫内インジケータが点滅から点灯に変わり、設定変更が完了します。



知識

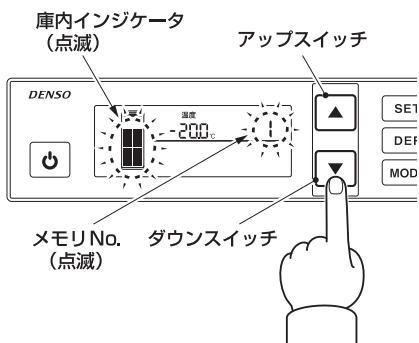
- SET スイッチを押さないと変更が確定しないため、必ず SET スイッチを押してください。
- メモリ No. および設定温度が点滅の状態ですら約 5 秒間経過すると、設定変更前の状態にもどります。

■メモリに記憶されている設定温度変更のしかた

メモリに記憶されている設定温度を変更するときは、冷凍機停止状態（13 ページ参照）およびエンジンスイッチ ON の状態で行います。

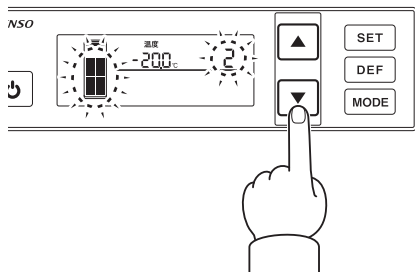
- 1 アップスイッチ▲またはダウンスイッチ▼のどちらかを 1 回押します。

●設定温度が点灯し、メモリ No. と庫内インジケータが点滅し、変更モードになります。



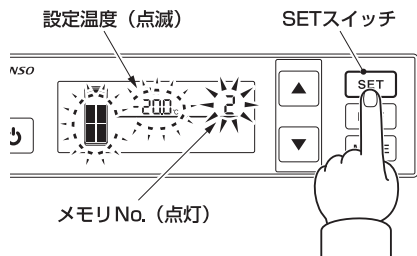
- 2 メモリ No. が点滅中にアップスイッチ▲またはダウンスイッチ▼を押し、メモリ No. を変更します。

▲....前に記憶されているメモリ No.
▼....次に記憶されているメモリ No.



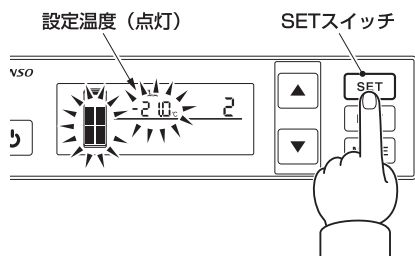
- 3 ご希望の温度のメモリ No. になったら SET スイッチを押します。

●メモリ No. が点滅から点灯に変わり、設定温度が点滅します。



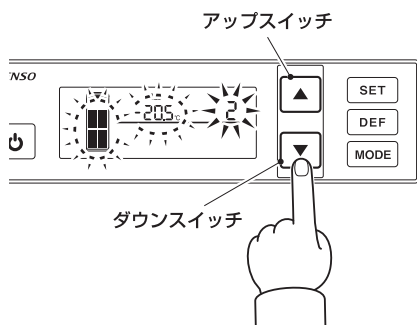
- 5 ご希望の設定温度になったら SET スイッチを押します。

●設定温度と庫内インジケータが点滅から点灯に変わり、設定変更が完了します。



- 4 設定温度が点滅中にアップスイッチ ▲ または ダウンスイッチ ▼ を押し、設定温度を変更します。

▲ 1 回押すと 0.5℃ 上昇
▼ 1 回押すと 0.5℃ 下降



知識

- SET スイッチを押さないで変更が確定しないため、必ず SET スイッチを押してください。
- メモリ No. および設定温度が点滅の状態で約 5 秒間経過すると、設定変更前の状態にもどります。

霜取りについて

クーリングユニットに霜がつくと冷却効果が急速に低下します。

フィン間隔の約半分にわたり霜がついているときは、霜取りをしてください。

■冷凍機への着霜防止について

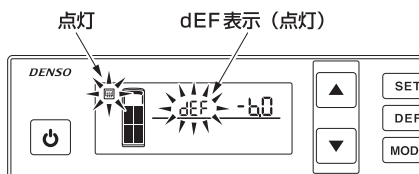
ドアを開放して作業等を行う必要があるときは、冷凍機を停止してください。



アドバイス

冷凍機を作動させたままドアを開放すると湿った外気が侵入し、クーリングユニットに霜がつき冷却効果が急速に低下する場合があります。ドアを解放して作業等を行う場合は、必ず冷凍機を停止してください。

■自動運転での霜取り



タイマーにより自動的に DEF（除霜）運転になります。

- DEF（除霜）運転中は  が点灯し、設定温度の表示が「dEF」に変わります。
- 霜取りが終わると自動的に  が消灯し、冷凍運転に切り替わります。

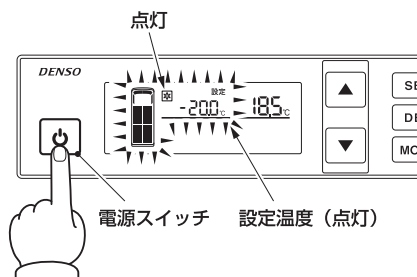
■ 手動での霜取り方法



アドバイス

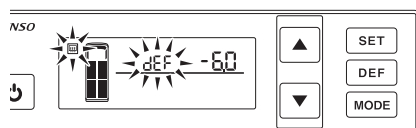
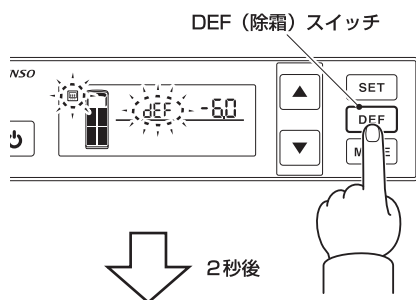
- 手動霜取りは庫内に荷物が無い状態で行ってください。荷物を積み込んだ状態で手動霜取りを行うと庫内温度が上昇するため、冷凍・冷蔵品を傷めるおそれがあります。
- 使用環境：条件により異なりますが、1週間以上連続して使用される場合は、クーリングユニット内部に氷がついて冷えが悪くなるおそれがあります。1週間に1～2回は必ず冷凍・冷蔵装置を停止して、クーリングユニット内部の氷を完全に溶かしてください。あわせて水抜きホース内の氷も溶かし、排水がよく流れるようにしてください。

- 1 エンジンを始動し、電源スイッチを押して冷凍機を動作させます。



- 2 冷凍機運転中に DEF (除霜) スイッチを押します。

- 設定温度の表示が「dEF」に変わり、2秒間点滅し、その後、DEF (除霜) 運転に切り替わります。
- DEF (除霜) 運転中は  が点灯します。



霜取りが終わると自動的に  が消灯し、冷凍運転に切り替わります。

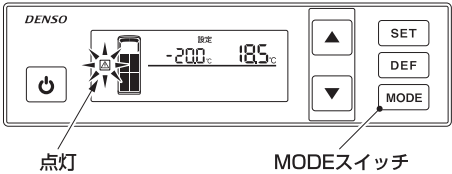
知識

- 庫内温度が 0℃ 以上のときは、DEF (除霜) スイッチを押しても霜取りを行わないことがあります。故障ではありません。
- 2秒間の「dEF」点滅中に再度 DEF (除霜) スイッチを押すと DEF (除霜) を中止し、冷凍運転に切り替わります。
- DEF (除霜) 運転中に DEF (除霜) スイッチを押すと「dEF」が点滅しますが、DEF (除霜) 運転を中止することはできません。

画面表示について

■ 冷凍機の異常について

冷凍機に異常があるときは、が点灯または点滅し、異常をお知らせします。



点灯	冷凍機に異常があり、冷凍能力が低下した状態で冷凍運転継続
点滅	冷凍機に悪影響をおよぼす異常で、冷凍機自動停止

- 異常内容の確認をするときは、MODE スイッチを押します。(21 ページ参照)
- 異常時は庫内の温度が上昇します。すみやかに積荷に対し適切な処置を施し、販売店または最寄りのデンソーサービス網で点検を受けてください。

ユーザー確認モードについて

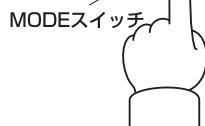
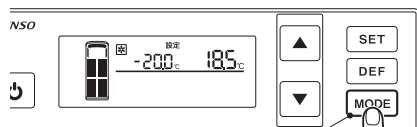
コントロールパネルの操作により、異常内容の確認、冷凍機稼働時間・回数の確認、適温はずれ表示の温度設定を行うことができます。

■ユーザー確認モードへの切り替え方

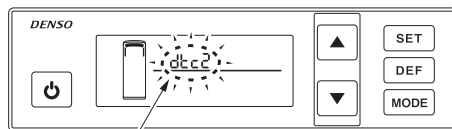
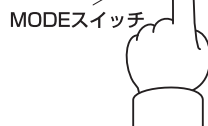
MODE スイッチを押します。

- 設定温度の表示が「dtt2」に変わり点滅します。
- 冷凍機の状態に関係なく操作できます。

〈冷凍機運転状態〉



〈冷凍機停止状態〉



dtt2表示(点滅)

「dtt2」が点滅中にダウンスイッチ▼を押すと、次ページの表のメニューの順番でメニューコードが切り替わり点滅します。



知識

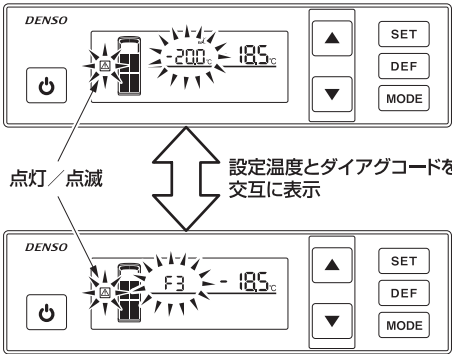
メニュー変更後、何もスイッチ操作をしない状態が約 5 秒間経過すると、庫内温度表示にもどります。

■ユーザー確認モード一覧

No.	メニューコード	メニュー内容	表示タイプ	表示内容
1	dtc2	過去ダイアグコード表示	コード表示	異常モードの確認を行います。
2	Hour	稼働時間表示	数値表示	冷凍機部品の稼働時間を表示します。
3	Cnt	カウンタ表示	数値表示	冷凍機部品の作動回数を表示します。
4	Hur2	累積稼働時間表示	数値表示	累積の稼働時間を表示します。
5	Cnt2	累積稼働回数表示	数値表示	累積の稼働回数を表示します。
6	CHEC	(オプション装備)	—	—
7	Err1	適温はずれ表示	設定変更	庫内温度が設定温度に対して、ある設定温度範囲内にはない場合は、庫内温度を点滅表示させ、適温はずれの表示を行うことが可能です。

冷凍機が異常を検出したとき、コントロールパネルにを点灯／点滅させるとともに、ダイアグコードを設定温度と交互に表示させ、冷凍機に異常が発生していることをお知らせします。

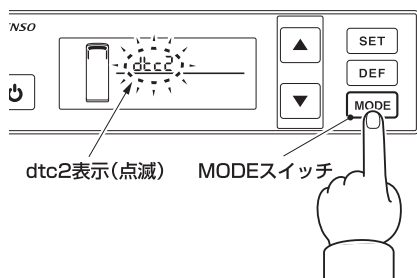
〈ダイアグコードの表示例〉



■過去の異常確認

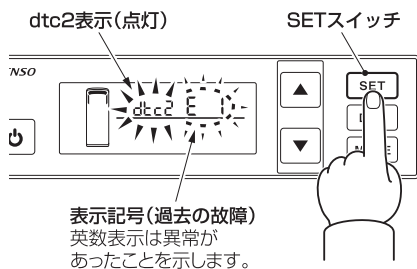
- 1 冷凍機運転・冷凍機停止の状態、MODE スイッチを押します。

●設定温度の表示が「dte2」に変わります。
●点滅します。



- 2 「dte2」が点滅中にSET スイッチを押します。

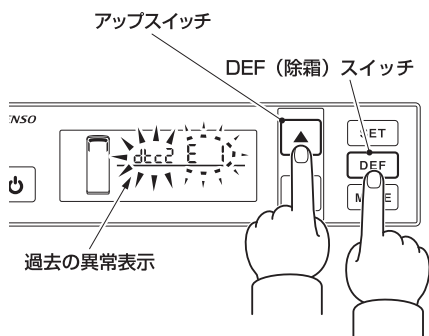
●「dte2」が点灯し、庫内温度表示部に過去の異常の表示記号が点滅します。
●複数の異常があった場合はアップスイッチ▲またはダウンスイッチ▼を押すと、表示記号が切り替わります。(表示記号と異常内容は 24 ページ参照)



■異常表示の削除

過去の異常表示中に DEF (除霜) スイッチとアップスイッチ▲を 3 秒間押し続けたら、すべての異常表示を削除します。

●削除完了時には、「ピッ」とブザーが鳴ります。



知識

過去に異常がなかった場合は「-----」しか表示しません。

表示記号	△表示		異常内容・処置
	低温	中温	
----	消灯	消灯	
F3、4	点灯※1	点滅	クーリングヒューズが切れています。運転席内およびヒューズ & リレーボックス内のヒューズを点検し、交換してください。
F11	点灯	点灯	コンデンサモータ 1 ヒューズが切れています。運転席内のヒューズを点検し、交換してください。
F12			コンデンサモータ 2 ヒューズが切れています。運転席内のヒューズを点検し、交換してください。
E1		点滅	庫内温度サーミスタ異常です。サーミスタの抵抗値および配線コネクタの点検をしてください。
E4	点灯※2	点灯※2	DEF（除霜）サーミスタ異常です。サーミスタの抵抗値および配線コネクタの点検をしてください。
P1	点滅	点滅	冷媒高圧異常です。冷媒ガス量を点検してください。ガス量が正常の場合、コンデンサファン（ラジエータファン）が回っているか確認してください。コンデンサコアにゴミやドロが付いていないか確認してください。
LC1	点灯※3	点灯※3	コントロールパネル電源異常です。運転席内のヒューズを点検し、交換してください。

※1：低温の場合、F3、F4 の両方が表示された場合のみ、運転停止となります。（△点滅）

※2：DEF（除霜）運転には入りません。

※3：異常の状態によっては何も表示されない場合があります。



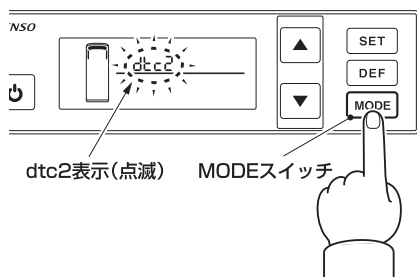
知識

- 複数の異常がある場合、表中の上から F3 ～ LC1 の順序で優先表示します。
- E4 の場合、DEF（除霜）運転には入りません。
- 気温が低い（約 0℃以下）とき、P1 表示が出る場合があります。この場合、電源スイッチを押して冷凍機停止状態にしてからエンジンを始動して暖機運転を行い、再度電源スイッチを押して冷凍機を作動させてください。

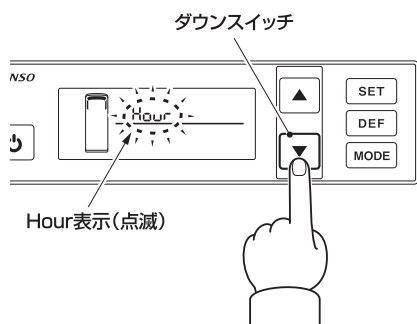
■冷凍機稼働時間の確認

- 1 冷凍機運転・冷凍機停止の状態、MODE スイッチを押します。

●設定温度の表示が「dte2」に変わり点滅します。

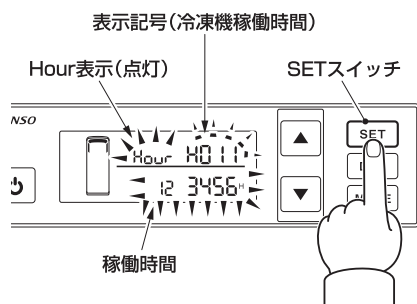


- 2 「dte2」が点滅中にダウンスイッチ▼を押し、「Hour」または「Hur2」の点滅に切り替えます。



- 3 「Hour」または「Hur2」が点滅中にSET スイッチを押します。

●「Hour」または「Hur2」が点灯し、庫内温度表示部に稼働時間の表示記号を点滅表示し、下段に稼働時間が表示されます。



- 4 稼働時間の表示記号が点滅中にダウンスイッチ▼を押すと、次の表示記号と稼働時間を表示します。

●アップスイッチ▲を押すと、ひとつ前の表示にもどります。

No.	表示記号	稼働時間
1	H011	メイン電源
2	H012	スタンバイ電源
3	H111	コンプレッサ
4	H210	クーリングモータ
5	H310	コンデンサモータ
6	H712	スタンバイコンプレッサ

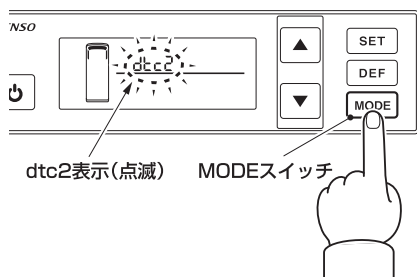
※：使用しない項目は「0」表示となります。

- 5 SET スイッチを押すと、2 の表示にもどります。

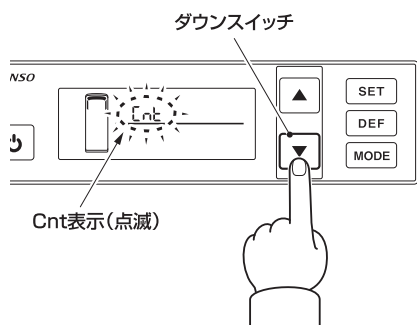
■ 冷凍機稼働回数の確認

- 1 冷凍機運転・冷凍機停止の状態、MODE スイッチを押します。

● 設定温度の表示が「dct2」に変わり点滅します。

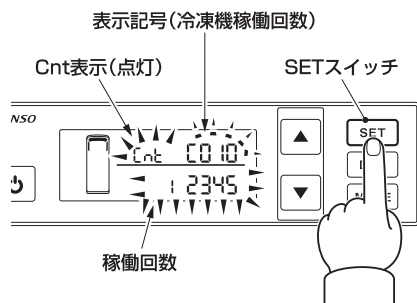


- 2 「dct2」が点滅中にダウンスイッチ▼を押し、「Cnt」または「Cnt2」の点滅に切り替えます。



- 3 「Cnt」または「Cnt2」が点滅中にSET スイッチを押します。

● 「Cnt」または「Cnt2」が点灯し、庫内温度表示部に稼働回数の表示記号を点滅表示し、下段に稼働回数が表示されます。



- 4 稼働回数の表示記号が点滅中にダウンスイッチ▼を押すと、次の表示記号と稼働回数を表示します。

● アップスイッチ▲を押すと、ひとつ前の表示にもどります。

No.	表示記号	稼働回数
1	C010	メイン電源
2	C111	コンプレッサ

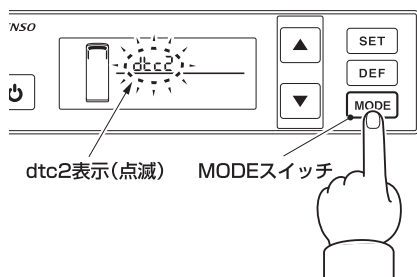
*：使用しない項目は「0」表示となります。

- 5 SET スイッチを押すと、2 の表示にもどります。

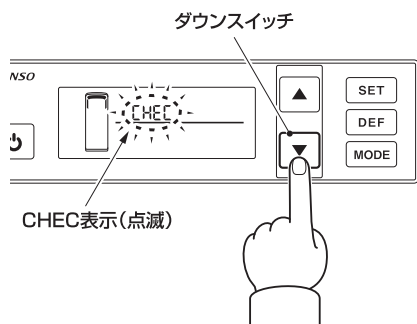
■ 交換対象部品表示

- 1 冷凍機運転・冷凍機停止の状態、MODEスイッチを押します。

● 設定温度の表示が「dte2」に変わり点滅します。

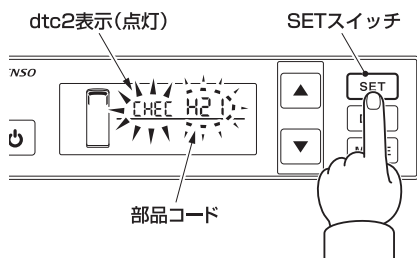


- 2 「dte2」が点滅中にダウンスイッチ▼を押し、「CHEC」の点滅に切り替えます。



- 3 「CHEC」が点滅中にSETスイッチを押します。

● 「CHEC」が点灯し、庫内温度表示部に部品コードの表示記号が点滅します。



- 4 複数の交換対象部品が発生しているときは、ダウンスイッチ▼を押すと、部品コードが切り替わり表示します。

● アップスイッチ▲を押すと、ひとつ前の表示にもどります。

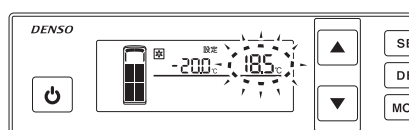
No.	部品コード	部品名
1	H11	コンプレッサ
2	H21	クーリングモータ
3	H31	コンデンサモータ
4	H71	スタンバイコンプレッサ

- 5 SETスイッチを押すと、2の表示にもどります。

■適温はずれ表示

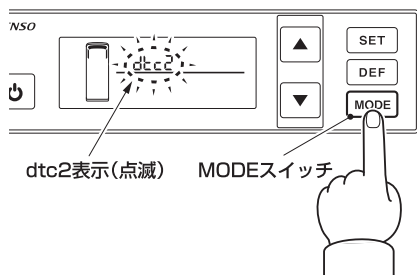
設定温度に対して、庫内温度が±何℃までが適温か、設定することができます。

- 庫内温度が適温の範囲外になった場合、庫内温度を点滅表示させ、適温でないことをお知らせします。

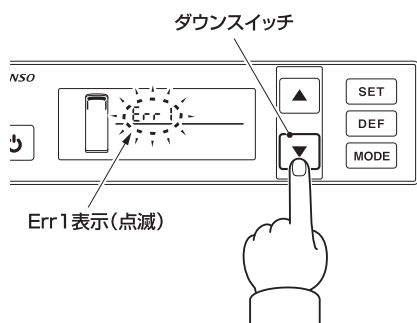


- 1 冷凍機運転・冷凍機停止の状態、MODE スイッチを押します。

- 設定温度の表示が「dtt2」に変わり点滅します。

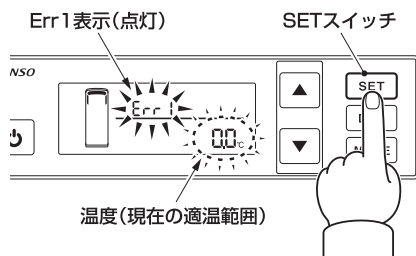


- 2 「dtt2」が点滅中にダウンスイッチ▼を押し、「Err1」点滅に切り替えます。



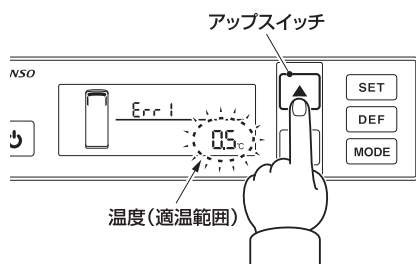
- 3 「Err1」が点滅中に SET スイッチを押します。

- 「Err1」が点灯し、下段に温度（現在の適温範囲）が点滅表示します。



- 4 アップスイッチ▲またはダウンスイッチ▼を押し、適温範囲を変更します。

- ▲ 1 回押すと 0.5℃上昇
- ▼ 1 回押すと 0.5℃下降



- 5 ご希望の適温範囲になったら SET スイッチを押します。

- 適温範囲設定が完了し、2 の表示にもどります。



知識

0℃に設定すると、適温はずれ表示をしません。（適温範囲なし）

スタンバイ装置

■ 専用電源について

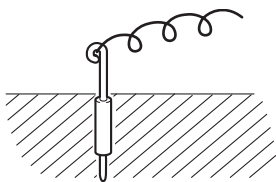
スタンバイ装置の電源は 3 相 AC200V、使用する電源コンセントは引掛形（接地極付 4 ピンタイプ JIS 規格定格 20A・250V）です。設置に関しては電気工事が必要です。専門業者に依頼してください。

なお、設置後に下記事項の確認を必ず行ってください。

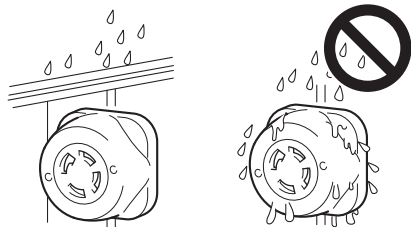
- 1 使用電源は 3 相 AC200V のこと。
- 2 漏電ブレーカが専用電源ごとに設置されていること。



- 3 専用アースが冷凍庫 1 台ごとに設けられていること。

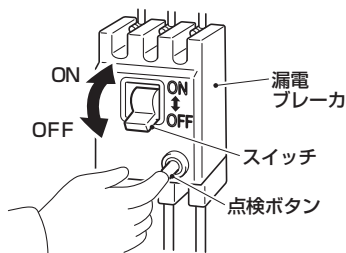


- 4 電源コンセントが雨水などのかからない位置にあること。



- 5 漏電ブレーカのスイッチを「ON」にしてから点検ボタンを押して、ブレーカのスイッチが「OFF」になること。

- 点検ボタンによる作動確認は 1 か月に一度、行ってください。
- 「OFF」にならない場合は、電気工事を施工した専門業者で点検を受けてください。



⚠ 警告

スタンバイ装置を使用するときは、次のことをお守りください。お守りいただかないと感電するなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- 漏電ブレーカと単独接地（アース）は電気設備技術基準・労働安全衛生規則などその他の法規で規定されています。必ず設置してください。
- 電気工事が完了するまでは冷凍機を使用しないでください。

👉 アドバイス

電源コードおよび電源コンセントに損傷がないことを確認し、損傷がある場合は、販売店またはデンソーサービス網で点検を受けてください。

■電源コードについて

⚠ 警告

電源コードの取り扱いに際して、次のことをお守りください。お守りいただかないと感電などによる重大な傷害や、コードの損傷や本体の故障につながるおそれがあります。

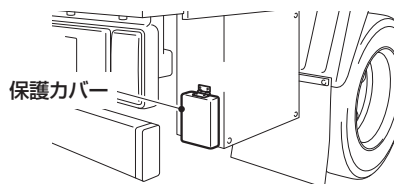
- 濡れた手で触れないでください。
- 電源コードを抜く場合は、必ずプラグをぎって抜いてください。
- 投げたり、落としたりしないでください。
- 濡らしたり、踏んだり、急な折り曲げなどをしないでください。

■スタンバイモータの始動のしかた

👉 アドバイス

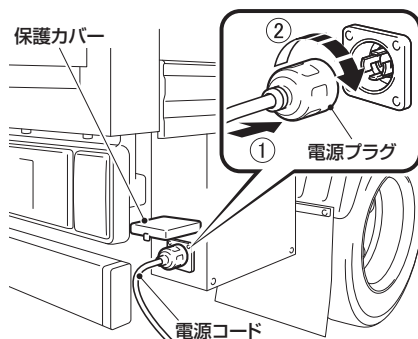
スタンバイコンプレッサ保護のため、1 週間に一度はスタンバイ装置を5分以上作動させてください。

- 1 エンジンキーを抜き取ります。
- 2 スタンバイユニットの電源ボックスの保護カバーを開けます。



- 3 電源コードを冷凍機（電源ボックス）側と電源側のコンセントに接続します。

●電源プラグを差し込み (①)、右にまわして接続します (②)。

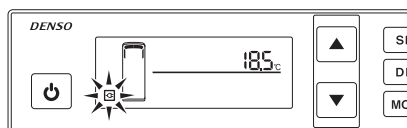
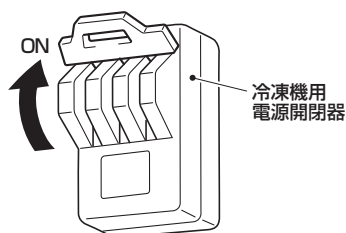


⚠ 警告

電源コードおよび電源コンセントに損傷がある場合は、ただちに修理または交換してください。電源コードには3相AC200Vの電圧がかかっており、感電するなど重大な傷害を受けるおそれがあります。

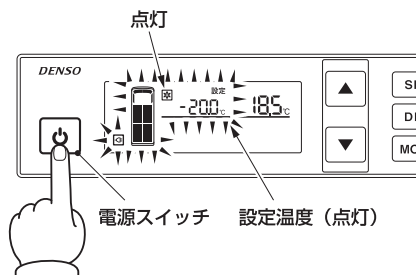
- 4 漏電ブレーカのスイッチを「ON」にして冷凍機用電源開閉器のスイッチを「ON」にし、冷凍機への通電を開始します。

- コントロールパネルのモニタ表示部が緑色になり、が点灯し、外部電源と接続されたことを知らせます。



- 5 コントロールパネルの電源スイッチを押して「ON」にします。

- モニタ表示部が緑色になり、設定温度・が点灯し、冷凍機が作動します。
- 荷室内が設定温度になると冷凍機は自動的に停止し、荷室内の温度が上昇すると自動的に運転を再開します。



アドバイス

運転の確認は、コンデンサが風を吸い込む音とコンプレッサまたはスタンバイ用モータの作動音で行ってください。なお、漏電ブレーカを「ON」にしてもコンデンサ内のモータが回転しない場合は、販売店またはデンソーサービス網で点検を受けてください。

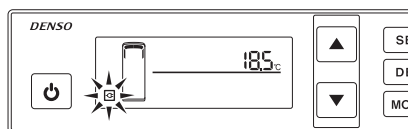
知識

は外部電源が接続されているときおよびスタンバイ運転時に点灯しますが、バッテリー電源と外部電源が同時に供給された場合は点滅し、ブザーが鳴ります。(バックライトも点滅します)

■スタンバイモータの停止のしかた

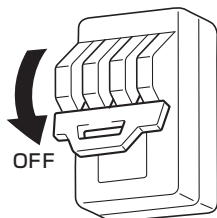
- 1 コントロールパネルの電源スイッチを押して「OFF」にします。

● モニタ表示部が冷凍機停止状態にもどり、冷凍機が停止します。



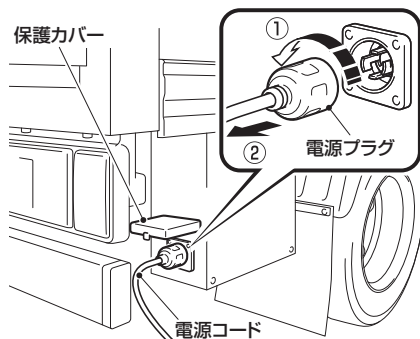
- 2 冷凍機用電源開閉器のスイッチを「OFF」にします。

● コントロールパネルのモニタ表示部の  が消灯し、外部電源との接続が解除されたことを知らせます。



- 3 電源コードを冷凍機（電源ボックス）側と電源側のコンセントから取りはずします。

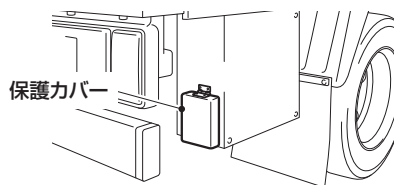
● 電源プラグを左にまわし (①)、引き抜きます (②)。



⚠ 警告

コードを取りはずすときは、必ず冷凍機用電源開閉器を先に「OFF」にし、冷凍機のモータが回転しているときにコードを取りはずさないでください。火花が飛ぶおそれがあり大変危険です。

- 4 電源ボックスの保護カバーを閉めます。



👉 アドバイス

電源コードを取りはずしたら、水やほこりなどが入らないように電源ボックスの保護カバーを確実に閉めてください。

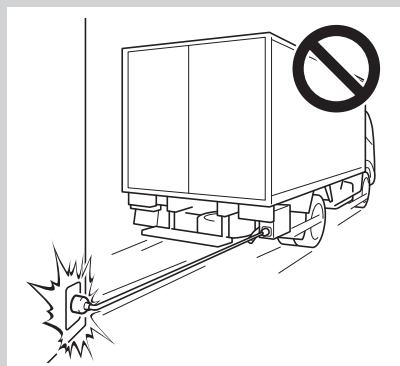
■警報ブザーについて

電源ボックスの電源プラグ差し込み口に電源プラグが接続されているときにエンジンスイッチを「ON」にすると、ブザーが鳴ります。(電源コード抜き忘れ防止装置)

ブザーが鳴ったときは、エンジンスイッチを「ACC」または「LOCK」にし、電源プラグの接続を確認してください。

⚠ 注意

電源コードを接続した状態で絶対に車を動かさないでください。誤って動かした場合は、各コンセントおよびソケット部、コード本体を必ず点検、修理してからご使用ください。また、漏電ブレーカの作動も必ず確認してください。



🎓 知識

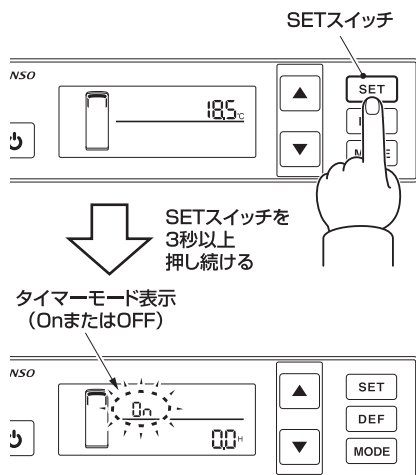
3 相 AC200V の電圧がかかっていないときは、電源コードが接続されていてもブザーは鳴りません。

スタンバイタイマーの設定

電源コードが接続され、冷凍機に通電されているとき、スタンバイのタイマー運転を行うことができます。

■スタンバイタイマーモードへの切り替え

- 1 電源コードを接続し、冷凍機に通電させます。(30、31 ページ参照)
- 2 冷凍機停止の状態で、SET スイッチを 3 秒以上押し続けます。
 - 設定温度の表示がタイマーモード〔On〕または〔OFF〕表示に変わり点滅します。



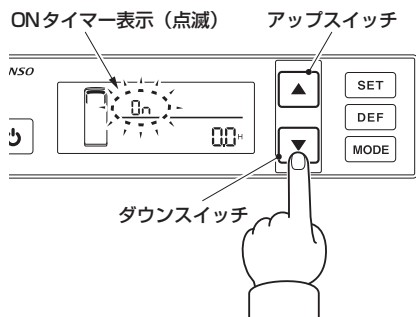
🎓 知識

- タイマーモード表示後、何もスイッチ操作をしない状態で約 5 秒間経過すると、元の画面にもどります。
- 0 時間はタイマー設定がされていないことを示します。

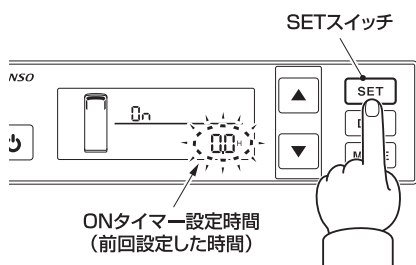
■ ON タイマーの設定

何時間後にスタンバイ運転を開始するか、設定します。

- 1 アップスイッチ▲またはダウンスイッチ▼を押し、点滅しているタイマーモード表示を「On」にします。



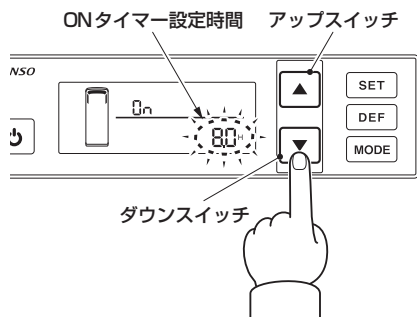
- 2 SET スイッチを押します。
● 下段の時間が点滅します。



- 3 アップスイッチ▲またはダウンスイッチ▼を押し、スタンバイ運転を開始する時間を変更します。

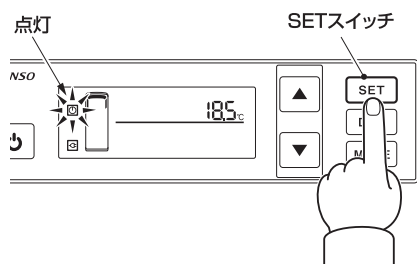
● 0.5 時間刻みで、最大 12 時間まで設定できます。

- ▲ 1 回押すと 0.5 時間前
▼ 1 回押すと 0.5 時間後



- 4 ご希望の時間になったら SET スイッチを押します。

● 約 5 秒間経過すると、冷凍機停止状態のモニタ表示にもどり、ON タイマーが設定されていることを示す、が表示されます。



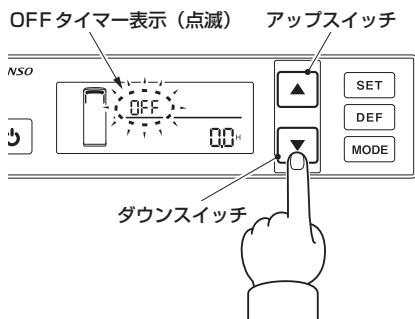
知識

が表示されないときは ON タイマーが設定されていません。最初から操作をやり直してください。(操作完了後は必ず SET スイッチを押してください)

■ OFF タイマーの設定

何時間後にスタンバイ運転を終了するか、設定します。

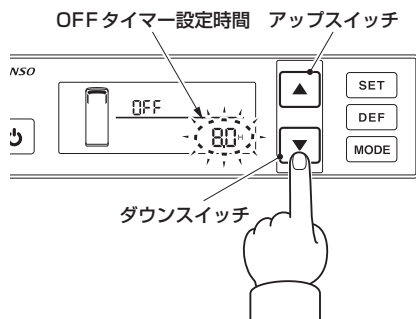
- 1 アップスイッチ▲またはダウンスイッチ▼を押し、点滅しているタイマーモード表示を「OFF」にします。



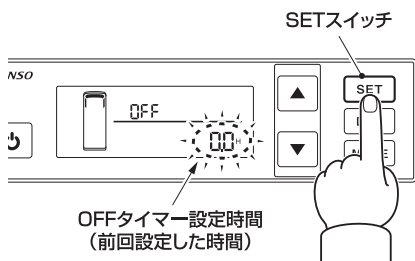
- 3 アップスイッチ▲またはダウンスイッチ▼を押し、スタンバイ運転を終了する時間を変更します。

● 0.5 時間刻みで、最大 12 時間まで設定できます。

- ▲ 1 回押すと 0.5 時間前
▼ 1 回押すと 0.5 時間後

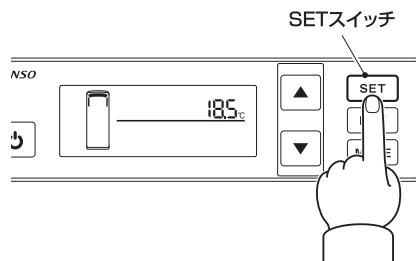


- 2 SET スイッチを押します。
● 下段の時間が点滅します。



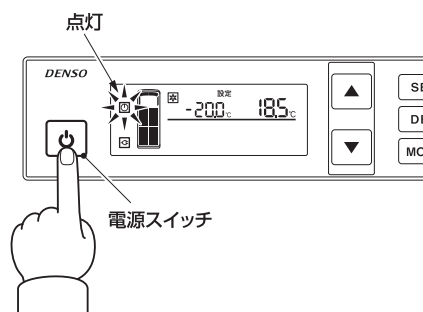
- 4 ご希望の時間になったら SET スイッチを押します。

● 約 5 秒間経過すると、冷凍機停止状態のモニタ表示にもどります。



- 5 電源スイッチを押し、冷凍機を運転します。

●OFF タイマーが設定されていることを示す、が表示されます。



知識

が表示されないときは OFF タイマーが設定されていません。最初から操作をやり直してください。(操作完了後は必ず SET スイッチを押してください)

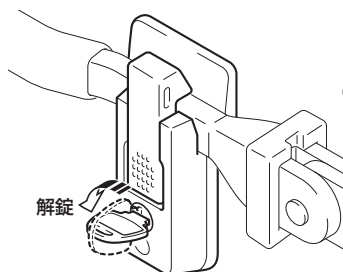
専用装置、装備の使い方

バックドア

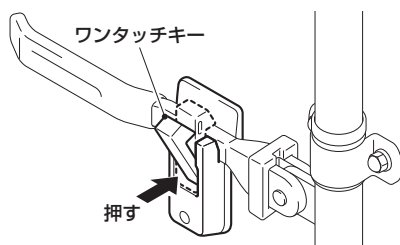
1 ナンバークラスは 2 本カンヌキ左先開き、4 ナンバークラスは 1 本カンヌキ左先開きになります。
左ドア→右ドアの順に開けます。

■左ドアの開け方

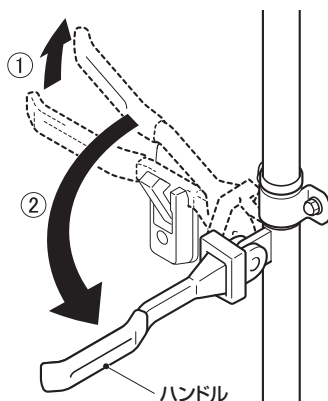
- 1 左ドアのシリンダ錠にキーを差し込み、左に回転させ、解錠します。



- 2 ワンタッチキーの下側を押します。



- 3 ハンドルを持ち上げ (①)、手前にまわします (②)。



- 4 ハンドルを手前に引き、左ドアを開けます。

アドバイス

ドアを全開にしたときにハンドルがサイドパネルにあたる場合がありますので、ハンドルはもとの位置にもどしておいてください。

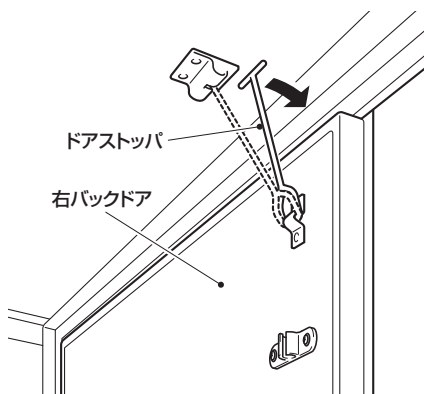
■右ドアの開け方

1 ナンバークラス

左ドアの②以降と同じ方法で開けます。

4 ナンバークラス

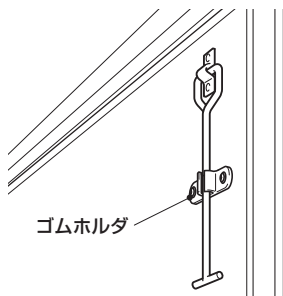
- ① 右バックドア内側上部のドアストッパをはずします。



知識

右ドアを車外から押しながら行くと、ドアストッパがはずしやすくなります。

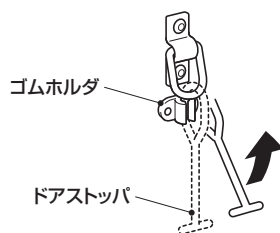
- ② ドアストッパをゴムホルダに差し込みます。



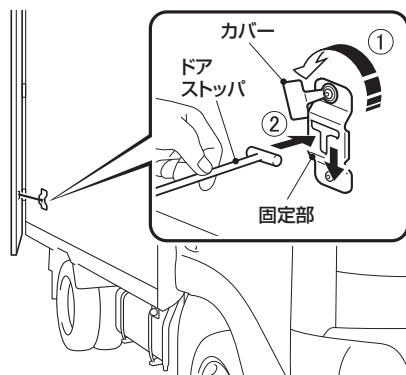
■固定のしかた

バックドアを全開にしたときは、バックドア外側下部のドアストッパで固定してください。

- ① ドアストッパをゴムホルダからはずします。



- ② カバーを開け (①)、ドアストッパを固定部に差し込みます (②)。



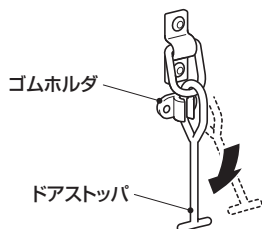
- ③ カバーを閉めます。

⚠ 警告

作業をするときは、必ずドアを全開にし、ドアストッパでドアを固定してください。風などで不意にドアが動いたり、傾斜地では自然にドアが動くことがあり、ドアだけがをしたり、通行人を傷付けるおそれがあり危険です。

■右ドアの閉め方

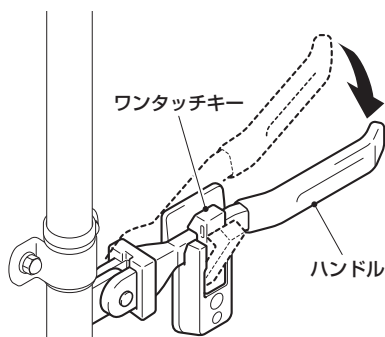
- 1 右ドア外側下部のドアストoppaを固定部からはずします。
- 2 ドアストoppaをゴムホルダに差し込みます。



- 3 右ドアを閉めます。

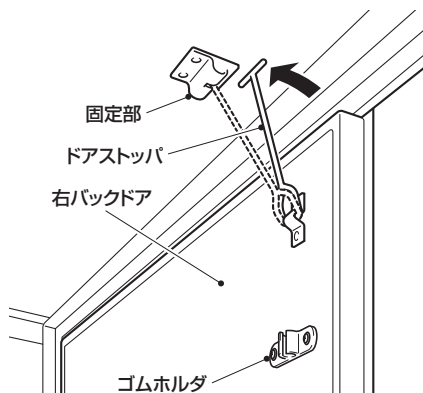
1 ナンバークラス

右ドアのハンドルをワンタッチキーに差し込みます。(自動的にロックされます)



4 ナンバークラス

右バックドア内側上部のドアストoppaをゴムホルダからはずし、固定部に差し込みます。



知識

右ドアを車外から押しながら行くと、ドアストoppaを固定部に差し込みやすくなります。

■左ドアの閉め方

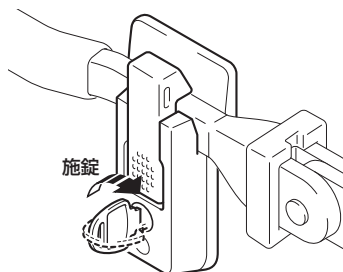
1 ナンバークラスの右ドアと同じ方法で閉めます。

警告

バックドアを閉めるときは、必ず荷室内に人がいないことを確認してください。荷室内に人が閉じこめられると、中からドアを開けることができず、重大な事故につながるおそれがあります。

■施錠のしかた（左ドアのみ）

キーをシリンダ錠に差し込み、右に回転させると施錠されます。

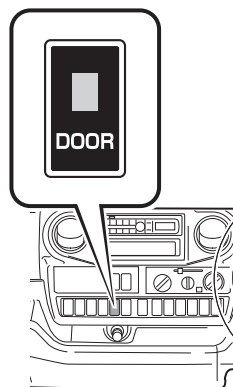


⚠ 警告

車から離れるときは、必ず荷室内に人がいないことを確認し、バックドアを閉め施錠してください。誤って人が荷室内に閉じこめられると、中からドアを開けることができず、重大な事故につながるおそれがあり危険です。また、盗難のおそれもあります。

半ドア警告灯

エンジンスイッチが「ON」のとき、バックドアが確実に閉められていないときに点滅します。



⚠ 警告

警告灯が点滅したまま走行しないでください。ドアが確実に閉まっていないと、走行中にドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。点滅した場合は、再度荷室内を確認してから確実に閉めてください。

🎓 知識

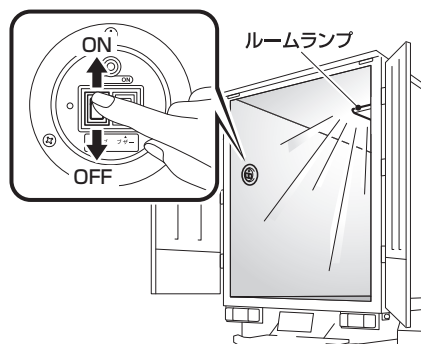
スイッチの位置は、取得オプションやボデー幅によって、変動いたします。

ルームランプ

荷室内左側後部にルームランプスイッチがあります。

ON.....左バックドアを開けたとき点灯し、閉めると消灯します。

OFF.....ドアの開閉に関係なく消灯します。



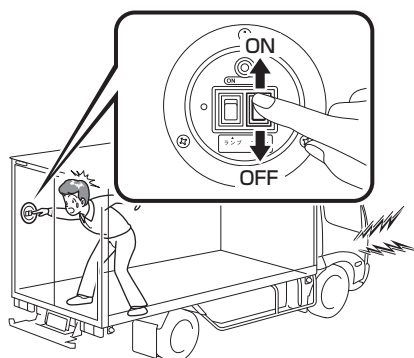
アドバイス

- 作業終了後や長期間車を使用しないときは、必ずスイッチを「OFF」にしてください。バッテリーあがりの原因になります。
- 点灯回数で電球の寿命が変わります。必要なとき以外は「OFF」にしてください。

非常警報ブザー

万一、荷室内に閉じこめられた場合に、荷室内からホーンを鳴らすことができます。

スイッチを「ON」にするとホーンが鳴り、荷室内に人が閉じこめられたことを外部に知らせます。



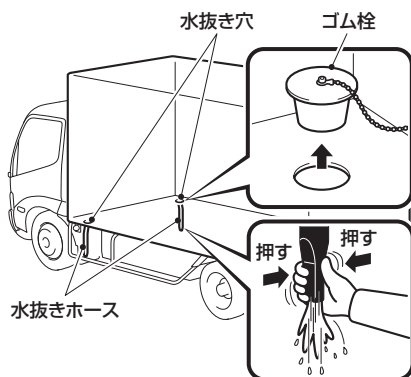
警告

非常警報ブザーが作動すること（スイッチ「ON」でホーンが鳴ること）を運行前に確認してください。装置が正常に作動しないと、万一、荷室内に人が閉じこめられたとき、外部に知らせることができず、重大な事故につながるおそれがあります。

水抜き穴および水抜きホース

水抜き穴のゴム栓をはずし、水抜きホースの先端を開くと、荷室内の水を荷室外に出すことができます。

- 水抜き後は必ずゴム栓で、水抜き穴に栓をしてください。



アドバイス

水抜きホースに損傷がある場合は、早めに交換してください。亀裂や破損したホースを使用し続けると冷気が逃げ、冷凍能力が低下するおそれがあります。

アイドルストップシステムについて

⚠ 注意

- 車両停止時、冷凍コンプレッサが作動していればアイドルストップシステムは作動しません。
- 車両停止時、冷凍コンプレッサが停止しているとアイドルストップシステムが作動しエンジンが停止します。この場合、冷凍庫内の温度が上昇してもアイドルストップシステムが解除されず、冷凍機が作動しません。冷凍機を作動させる場合は、エンジン始動後アイドルストップシステムを解除してください。アイドルストップシステムの解除のしかたについては、車両側の取扱説明書をお読みください。

手入れ、点検・整備項目

定期点検整備

故障を減らして長く大切に使うために定期点検整備をお願いします。

点検結果を記録する際には、巻末の記録簿を A4 サイズにコピーして使用してください。

「●」は法令で定められた点検時期を示し、「○」および交換時期は推奨する点検・交換時期を示します。

下表項目以外の点検項目については、メンテナンスノートを参照してください。

冷凍ユニット3か月点検（法定点検）

2015 年 4 月から施行のフロン排出抑制法で、簡易点検の実施と記録保管が義務付けられています。

- 異常を発見した際には、60 日以内の修理が義務付けられていますので、速やかに最寄りの販売店へ依頼してください。
- 点検結果は 67 ページの記録簿を A4 サイズにコピーして記入・保管し、お車をゆずられるときは必ず記録簿をお車につけておいてください。

■点検内容・方法

点検内容	点検方法
オイルにじみ	エンジンや冷凍ユニット停止状態で、損傷・変形・さび・ゆるみなどによるオイルにじみの有無を目視確認します。
異音	冷凍ユニットを作動させ、異常音の有無を聴感で確認します。
エバポレータ作動状態	冷凍ユニット作動状態のまま、クーリングユニット（室内機）吹出口から冷風が出ていることを確認します。

点 検 整 備 項 目	点検時期	交 換 時 期 (年)	備 考
	3 か 月 ご と		
エンジンルーム ・コンプレッサのオイルにじみ ・コンプレッサの作動音 ・冷却ホース類のオイルにじみ ・配管類のオイルにじみ	● ● ● ●		
コンデンサ ・オイルにじみ ・作動音	● ●		
スタンバイ装置の作動音	●		
エバポレータ ・オイルにじみ ・作動音 ・作動状態	● ● ●		

12 か月点検

点検結果を記録する際には、69 ページの記録簿を A4 サイズにコピーして使用してください。

■全車共通部分

点 検 整 備 項 目		点検時期		交 換 時 期 (年)	備 考
		日 常 点 検	12 か 月 ご と		
電 気	非常警報ブザーの作動 ルームランプのON/OFF 半ドア警告灯のON/OFF トップマーカランプ・ サイドマーカランプのON/OFF	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		スイッチ「ON」でホーンが鳴ること ライトスイッチ「ON」で点灯すること (1ナンバークラスのみ)
ド ア	バックドア ・開閉時の作動状態 ・シールの摩耗・破れ	○ ○	○ ○		確実にドアが閉まり、半ドア警告灯が 消え、引っかかり・異音がないこと
リ ヤ ボ デー	内外板の錆・破損・異常な浮き上がり ステップの曲がり・破損・ステーの変形 シャシとの締結ボルトの締め付け ボデー床下フレーム締結ボルトの締め付け 水抜きホースの変形・つぶれ マウンティング部のシムの摩耗	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○		ゴム栓の破損等も確認

■ 冷凍装置部分

稼働時間の表示方法については 25 ページを参照してください。

スタンバイ無し車

点 検 整 備 項 目	点検時期		交 換 時 期 (時間)	備 考
	1000時間ごと	11000時間ごと		
Vベルトの摩耗・損傷・張り具合	○			新品交換時、慣らし運転後に再度、張りを点検
冷媒量 ・ サイトグラスの気泡確認 ・ ガスもれ	○	○		サイトグラス：53ページ参照 配管締付部等のガスもれをガス リークテスタで点検
コンデンサ ・ フィン部の目詰まり ・ モータ作動状態	○ ○		※ 24000	目詰まり・つぶれがないこと 異音・回転状態を点検
コントロールパネルの作動状態	○			電源スイッチ・DEF(除霜)スイッチの作動および バックライト・温度表示・運転状態が正確なこと
クーリングユニット ・ フィン部の目詰まり ・ モータ作動状態 ・ ドレンホース	○ ○ ○		8000	目詰まり・つぶれがないこと 異音・回転状態を点検 変形・はずれ・つぶれがないこと
各部取付部のゆるみ・ガタ	○			各部クランプ部、コンデンサ、クーリ ングユニット取付部を点検
コンプレッサ ・ 作動状態 ・ オーバーホール	○		8000	オイルもれ・異常がないこと
コンプレッサブラケット ・ ブラケット破損・ボルトのゆるみ	○			ゆるみのあるときは増し締め
マグネットクラッチの作動状態	○		16000	電源スイッチ「ON」で作動・異音 を点検
高低圧ホースの取付状態・損傷	○		8000	損傷・ふくらみがないこと
アイドルプーリの作動状態	○		8000	異音・振れがないこと
ワイヤハーネス接続部のゆるみ・損傷		○		コネクタのゆるみ・ハーネスの損傷がないこと
レシーバ交換			8000	冷媒サイクル解放時にも交換
アイドルアップの作動状態		○		エンジンにより回転数が異なる (48ページ参照)

※：パッケージ型冷凍機搭載車はモータ交換時期が8000時間ごとになります。

※：中温用セバレート型冷凍機搭載車（最大積載量2 t以上のロングボデー車は除く）はモータ交換時期が6000時間ごとになります。

スタンバイ付き車

〈メイン側・スタンバイ側の共通項目〉

点 検 整 備 項 目	点検時期		交 換 時 期 (時間)	備 考
	1000時間 以下	1000時間 以上		
冷媒量 ・ サイトグラスの気泡確認 ・ ガスもれ	○	○		サイトグラス：53ページ参照 配管締付部等のガスもれをガス リークテストで点検
コンデンサ ・ フィン部の目詰まり ・ モータ作動状態	○ ○		24000	目詰まり・つぶれがないこと 異音・回転状態を点検
コントロールパネルの作動状態	○			電源スイッチ・DEF(除霜)スイッチの作動および バックライト・温度表示・運転状態が正確なこと
クーリングユニット ・ フィン部の目詰まり ・ モータ作動状態 ・ ドレンホース	○ ○ ○		8000	目詰まり・つぶれがないこと 異音・回転状態を点検 変形・はずれ・つぶれがないこと
各部取付部のゆるみ・ガタ	○			各部クランプ部、コンデンサ、クーリン グユニット取付部を点検
コンプレッサ (メイン側・スタンバイ側それぞれ点検) ・ 作動状態 ・ オーバーホール	○		8000	オイルもれ・異常がないこと
マグネットクラッチの作動状態 (メイン側・スタンバイ側それぞれ点検)	○		16000	電源スイッチ「ON」で作動・異音 を点検
高低圧ホースの取付状態・損傷	○		8000	損傷・ふくらみがないこと
ワイヤハーネス接続部のゆるみ・損傷		○		コネクタのゆるみ・ハーネスの損傷がないこと
レシーバ交換			8000	冷媒サイクル解放時にも交換

〈メイン側の項目〉

点 検 整 備 項 目	点検時期		交 換 時 期 (時間)	備 考
	一〇〇〇時間ごと	二〇〇〇時間ごと		
Vベルトの摩耗・損傷・張り具合	○			新品交換時、慣らし運転後に再度、張りを点検
コンプレッサブラケット ・ブラケット破損・ボルトのゆるみ	○			ゆるみのあるときは増し締め
アイドルプーリの作動状態	○		8000	異音・振れがないこと
アイドルアップの作動状態		○		エンジンにより回転数が異なる（下記参照）

〈スタンバイ側の項目〉

点 検 整 備 項 目	点検時期		交 換 時 期 (時間)	備 考
	一〇〇〇時間ごと	二〇〇〇時間ごと		
スタンバイコンプレッサの作動状態	○		11000	オイルもれ・異常がないこと

 知 識

アイドルアップの点検時のエンジン回転数は次の通りです。

エンジン	回転数 (r/min {rpm})
N04C	850±50

定期交換部品

冷凍機器に使用されている部品には、外観上異常がなくても摩耗・劣化するものがあります。

定期交換部品は、冷凍性能を確保するために、定期的に交換することをおすすめしている部品です。

●交換作業は販売店またはデンソーサービス網にお申し付けください。

交換時期（時間）	部品名
6000	コンデンサモータ（最大積載量2t以上のロングボデー車を除く中温用セパレート型冷凍機搭載車）
8000	クーリングモータ、コンプレッサ（オーバーホール）、高低圧ホース、アイドルプーリ、レシーバ、コンデンサモータ（パッケージ型冷凍機搭載車）
11000	スタンバイコンプレッサ
16000	マグネットクラッチ
24000	コンデンサモータ（上記、交換時期6000時間対象車種を除くセパレート型冷凍機搭載車）

消耗部品

下記部品は使用頻度・経年変化などにより、消耗・劣化する部品です。点検時に摩耗や損傷状態を見て早めに交換してください。

●交換作業は販売店またはデンソーサービス網にお申し付けください。

Vベルト、冷媒（低温冷凍車：R404A、中温冷凍車：HFC-134a）、ドアウェザーストリップ、水抜きホース、電球・LED・マーカランプLED・ヒューズ、油脂類、スタンバイ電源コード

簡単な点検

ヒューズの点検・交換

装置が正常に作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。

ヒューズが切れたときは、必ず規定容量のヒューズと交換してください。

●標準車取扱説明書の『ヒューズ』のページをあわせてお読みください。

警告

規定容量以外のヒューズを使用しないでください。配線が過熱・焼損し、火災になるおそれがあり危険です。

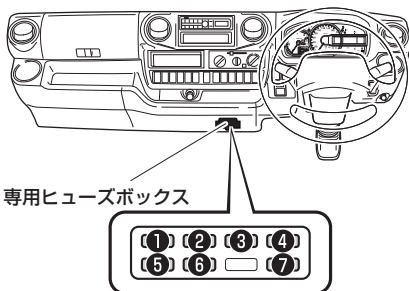


アドバイス

取り替えてもまたヒューズが切れる場合は、販売店で点検を受けてください。

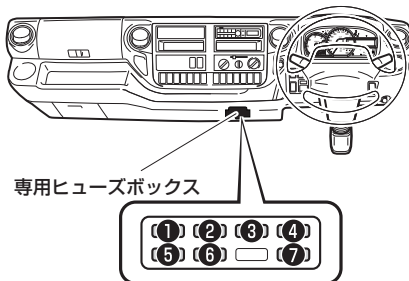
■専用ヒューズボックス

標準キャブ車



専用ヒューズボックス

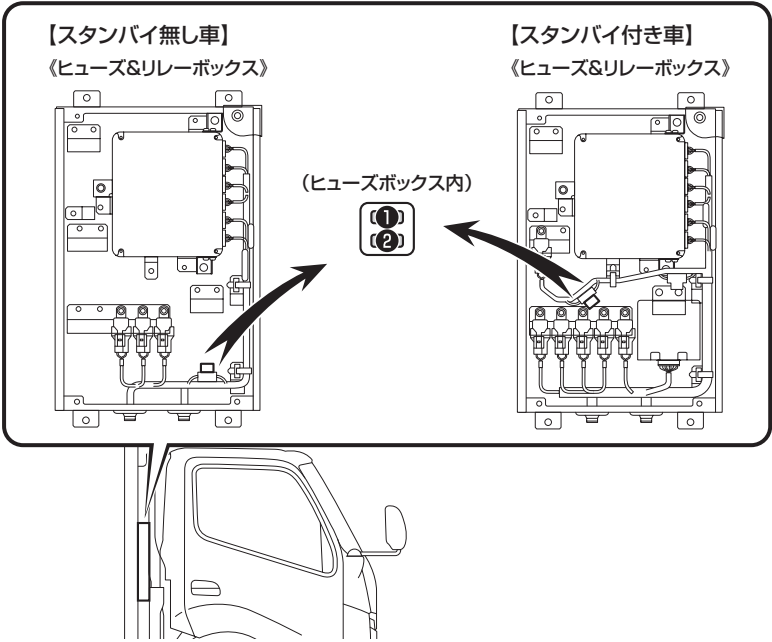
ワイドキャブ車



専用ヒューズボックス

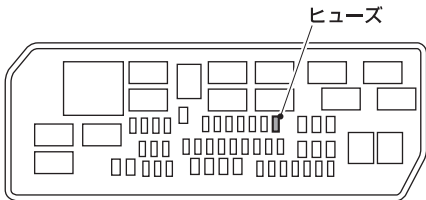
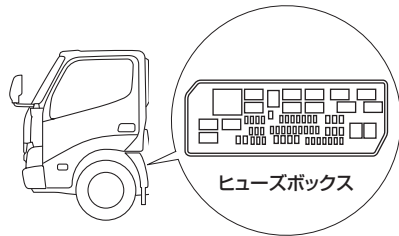
ヒューズ名称		アンペア数	ヒューズの受け持つ 主な装置名称
①	ルームランプ	10A	ルームランプ、 非常警報ブザー
②	ライトウメイン	10A	コンプレッサ
③	クーリング	20A	クーリングモータ
④	ベルトヒータ	5A	コンデンサ
⑤	ドアランプ	10A	半ドア警告灯
⑥	メータショウド	5A	コントロールパネル
⑦	コンデンサ	20A	コンデンサ

■ ヒューズ&リレーボックス



ヒューズ名称	アンペア数	ヒューズの受け持つ 主な装置名称
① クーリング1	10A	クーリングモータ1
② クーリング2	10A	クーリングモータ2

■ 室外ヒューズボックス



ヒューズ名称	ヒューズの受け持つ主な装置名称
P-TAIL	マーカランプ

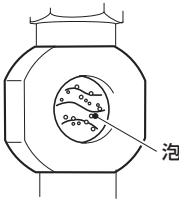
灯火類

種類	ワット数
ルームランプ	24V/5W
サイドマーカ ランプ	24V/2.4W
トップマーカ ランプ	24V/1.2W

冷媒量の確認

冷凍運転（エンジン回転 1500 ～ 2000r/min {1500 ～ 2000rpm}）を開始して約 15 分後、サイトグラスを見て冷媒の流れを確認してください。

- 正常な場合 流れは透明
- 冷媒量不足の場合.. 流れに泡が見られる



⚠ 警告

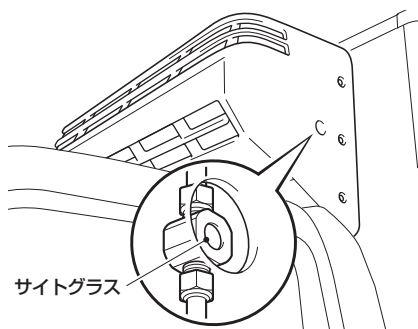
パッケージ型冷凍機搭載車のサイトグラスは高い位置に取り付けられているため、点検時は脚立などを使用し、転落しないよう十分注意してください。

🎓 知識

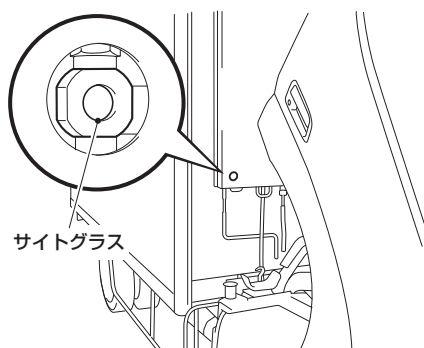
荷室内温度が高い場合は、冷媒量不足でなくてもサイトグラスに泡が見える場合があります。その場合はバックドアを閉め、荷室内温度を 0℃ の状態でサイトグラスを見て、冷媒の流れを確認してください。

■ サイトグラスの取り付け位置

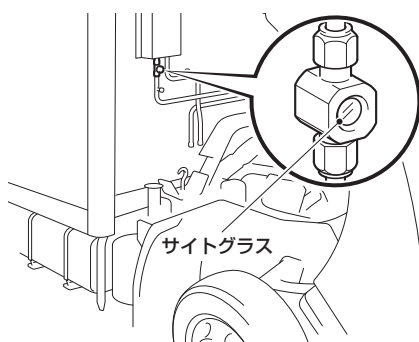
パッケージ型冷凍機搭載車



セパレート型冷凍機搭載車 (低温冷凍車)



セパレート型冷凍機搭載車 (中温冷凍車)

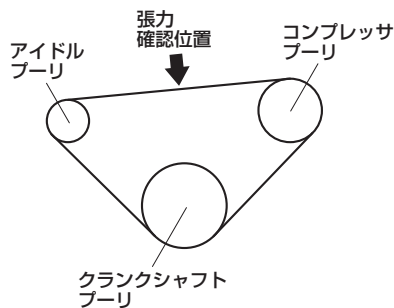


V ベルトの張り具合

V ベルトのゆるみや張りすぎは、冷凍機の故障などを起こす原因になりますので、常に正しい張り具合に調整しておきます。

- エンジンを停止して点検します。
- 下図の張力確認位置を約 98N {10kgf} の力で押して、ベルトのたわみ量が基準値内にあるか、およびベルトに損傷がないかを点検します。

冷凍機側



装置	たわみ量 (mm)	張力※1 (N{kgf})
冷凍機	13.5～18.5	294～490 {30～50}

※1：張力は参考値です。

警告

V ベルトを点検するときは、必ずエンジンを停止させてください。エンジン回転中は回転部分に触れたり、近づいたりしないでください。手や衣服などが巻き込まれたりして思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



アドバイス

新品のベルトに交換したときは、ベルトに初期なじみが出ていせんので 5 分以上アイドリング回転させ、ベルトの張りを再度調整してください。

車の手入れ

日頃の手入れ

車をいつまでも美しく保つためには日頃の手入れが必要です。

■ 次のような場合は、ただちに洗車をしてください

塗装の劣化や車体・部品の腐食などを早める原因になります。

- 海岸地帯の走行をしたとき
- 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき
- コールタール、花粉、樹液、鳥のふん、虫の死がいなどが付着したとき
- ばい煙、油煙、粉じん、鉄粉、化学物質などの降下の多い場所を走行したとき
- ほこり、泥などで著しく汚れたとき

■ 塗装について

- 飛び石傷やかき傷は、ボデーの腐食の原因になりますので、見つけたら早めにトヨタ純正タッチアップペイントなどで補修してください。
- ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤が付着したときは、塗装を損傷しますので、ただちに拭き取る、洗車するなどしてください。

■ 外板の手入れ

水洗いをします。

- 汚れのひどいときは、中性洗剤を使用します。
- 毛の硬いブラシなどは使用しないでください。

■ 内板の手入れ

- 1 水洗いをします。
- 2 水抜きホースを押して開き、水を出します。



アドバイス

特に塩分を含む荷物を輸送した後は、錆が発生しやすいため荷室内を十分洗浄し、塩分が残らないように乾燥させてください。

■水抜き穴の手入れ

穴の中にゴミがたまっているときは、水抜き穴および水抜きホースを掃除して、目詰まりのないようにします。



アドバイス

水抜き穴が目詰まりしていると荷室内が水で濡れ、積荷が損傷するおそれがあります。

■コンデンサの手入れ

コンデンサフィンに泥や塵埃などが付着して汚れていると、コンデンサの冷却効率が大幅に低下し、冷凍能力も低下します。コンデンサに付着している汚れや塵埃を洗い流してください。

また、融雪剤・凍結防止剤が散布された道路を走行したときにもコンデンサを洗浄し、融雪剤・凍結防止剤を洗い流してください。



警告

電気関係の部品には直接水をかけないでください。配線が過熱、焼損し、火災になるおそれがあります。



アドバイス

- コンデンサのフィン部は特に毛の硬いブラシなどを使用しないでください。毛の硬いブラシなどを使用するとフィン部がつぶれ、冷却能力が低下します。
また、高圧洗車機でコンデンサへ直接水をかけないでください。
- コンデンサに融雪剤・凍結防止剤が付着したまま放置しないでください。腐食によりガスもれが起こり、冷凍機が停止します。

デンソーサービス網

平日昼間の冷凍機（11～36ページ『冷凍装置の使い方』参照）に関するサービス相談につきましては、最寄りの販売店またはデンソーサービス網までご連絡ください。

株式会社デンソーサービス網一覧

所在地	サービス店名	電話番号
北海道	函館市 (株)デンソーソリューション 北海道支社 函館支店	0138-41-5511
	函館市 輪島電装(株)	0138-48-8181
	苫小牧市 動輪電機工業(株)	0144-55-6777
	苫小牧市 (株)大津山商店	0144-32-7151
	室蘭市 (株)大津山商店 室蘭支店	0143-44-4710
	日高郡 植村電機工業(株)	0146-42-1321
	帯広市 (株)デンソーソリューション 北海道支社 帯広支店	0155-33-4191
	釧路市 千代田電装工業(株) 釧路支店	0154-51-3811
	中標津 (株)デンソーソリューション 北海道支社 中標津サービスセンター	0153-73-2217
	北見市 桑原電装(株)	0157-36-8555
	網走市 桑原電装(株) 網走支店	0152-46-2222
	旭川市 千代田電装工業(株) 永山サービスセンター	0166-48-4235
	稚内市 (株)桜井電業所	0162-23-3611
	札幌市 (株)デンソーソリューション 北海道支社 西サービスセンター	011-558-7888
	札幌市 (株)デンソーソリューション 北海道支社 札幌サービスセンター	011-558-7888
	小樽市 (有)向井電機兄弟商会	0134-26-6145
	滝川市 (株)中田電機商会	0125-24-5222
	岩内郡 山下電装(株)	0135-62-8185
	岩見沢市 (株)カサデン	0126-22-4088
	北広島市 (株)ラッセル 北海道営業所	011-372-2181
青森県	弘前市 (株)小山内バッテリー社	0172-32-8121
	青森市 (株)小山内バッテリー社 青森店	017-782-5530
	五所川原市 (株)小山内バッテリー社 五所川原店	0173-35-3091
	八戸市 (株)八戸電機商会	0178-27-8351
秋田県	秋田市 (株)デンソーソリューション 東北支社 秋田支店	018-863-3355
	大館市 秋北電機工業(株)	0186-49-2151
岩手県	盛岡市 (有)岩手自動車電機	019-622-7383
	盛岡市 (有)岩手自動車電機 バイパス営業所	019-635-6656
	釜石市 (有)煙山電機工業所	0193-22-1659
	北上市 佐藤自動車工業(株)	0197-68-3211
	宮古市 (有)秋元電装	0193-62-3702
	奥州市 (有)岩手県南電装	0197-25-6770
山形県	山形市 (株)デンソーソリューション 東北支社 山形支店	023-645-3811
	酒田市 新光電機(有)	0234-24-3140

所在地		サービス店名	電話番号
山形県	東置賜郡	(有)渡部自動車電機工業	0238-57-3003
	寒河江市	(有)タイコー電機商会	0237-86-4327
	鶴岡市	(有)デンソーテクノス	0235-22-7273
	長井市	(有)ナガイデンソー	0238-88-9198
宮城県	仙台市	(株)デンソーソリューション 東北支社	022-238-9911
	仙台市	(株)飯田電精機	022-236-1191
	仙台市	(株)仙台銚田モーター商会	022-236-1551
	仙台市	(有)宮城電装	022-236-2238
	名取市	(有)名取電装	022-384-3502
	気仙沼市	(有)気仙沼飯田電精機	0226-23-9688
	栗原市	(有)菅原デンソー	0228-22-3471
	石巻市	(株)石巻飯田電機	0225-93-1441
福島県	福島市	(有)佐藤デンソー	0255-98-8505
	福島市	(株)鈴木電機	024-546-9635
	会津若松市	(有)会津バッテリー商会	0242-22-3629
	会津若松市	(株)オートデンソーマルヤマ 会津店	0242-24-1717
	いわき市	(有)ホマレ電池工業	0246-42-4439
	いわき市	(有)鹿取電機工業所	0246-58-6808
	郡山市	(株)オートデンソーマルヤマ	024-945-5388
栃木県	福島市	(有)コールドサービス福島	024-555-3283
	宇都宮市	(株)ハヤブサ電装	028-658-2181
	大田原市	(有)野中電機商会	0287-23-5155
	小山市	(株)栃木デンソー	0285-24-1811
茨城県	佐野市	(有)須永電装	0283-62-6861
	水戸市	(株)デンソーソリューション 関東支社 茨木支店	029-304-1002
	石岡市	(有)アワノ電機商会	0299-23-5515
	古河市	針谷電池(株)	0280-32-1290
	筑西市	(株)モバイルテック茨城	0296-24-1011
群馬県	つくば市	(有)吉波電機工業	029-836-3411
	高崎市	群馬電装(株)	027-323-3622
	邑楽郡	(有)金井電機工業所	0276-62-2654
	渋川市	(株)群馬オートテクノサービス	0279-23-0280
埼玉県	前橋市	(有)中央電機商会	027-251-7151
	川越市	(株)IDK	049-225-4001
	さいたま市	坂口電機工業(株) さいたま営業所	048-853-4545
	さいたま市	(株)ジャパンコールド東京	048-866-3361
	所沢市	(株)デンソーサービス西埼玉	04-2992-0275
	深谷市	深谷電機(株)	048-571-0909
	羽生市	(有)羽生電機商会	048-561-0063
	川口市	丸八電機工業(株)	048-222-4030
	鶴ヶ島市	(有)西田電装サービス	0492-85-7111
千葉県	越谷市	越谷丸八電機(有)	048-976-0806
	入間郡	(株)ロードボス 関東営業所	049-265-8933
	千葉市	(株)ノサカデンソー	043-257-3242

所在地		サービス店名	電話番号
千葉県	千葉市	花澤電装(株)	043-241-6565
	香取市	(株)向後電装	0478-50-5202
	野田市	角田電気工業(株) 野田支店	04-7122-2570
東京都	葛飾区	長塚電気工業(株)	03-3607-0325
	三鷹市	(有)加藤電機商会	0422-51-9463
	昭島市	(有)造サービス	042-546-6155
	杉並区	(有)モロズミ電機工業所	03-3328-6765
	世田谷区	マコト電機(株)	03-3700-2211
	台東区	角田電気工業(株)	03-3872-5116
	足立区	東京ユアサ電装(株)	03-5647-6120
	町田市	(株)アユミ電機	042-728-9843
	東久留米市	アライ電機産業(株) 東久留米営業所	0424-74-9808
	豊島区	(有)城北電機工業	03-3984-5831
	豊島区	(株)豊島電機	03-3953-2211
	墨田区	坂口電機工業(株)	03-3624-4531
	練馬区	アライ電機産業(株)	03-3925-1602
山梨県	笛吹市	(株)鈴木デンソーサービス	0553-26-3201
	中巨摩郡	(株)鈴木デンソーサービス 昭和営業所	055-234-5338
神奈川県	横須賀市	(株)旭電気工業	046-835-4949
	横浜市	(株)オート電機 横浜営業所	045-481-5821
	横浜市	(株)デンソーソリューション 関東支社 横浜支店	045-471-3939
	横浜市	(有)小野電機商会	045-544-7231
	厚木市	(株)オート電機 厚木営業所	046-245-0223
	厚木市	(株)大澤電機	046-248-0118
	相模原市	(有)神奈川電装サービス	042-777-1800
	小田原市	(株)三宅電気工業所	0465-39-0003
	平塚市	(株)湘南プレーキセンター	0463-55-1816
新潟県	新潟市	(株)クラウン電装	025-250-1708
	長岡市	三光電機(株)	0258-22-2311
	上越市	上越電装(株)	025-543-4323
富山県	富山市	(株)松電舎	076-432-5454
	富山市	(株)清水電装	076-425-8583
	砺波市	(有)河原電機	0763-32-3350
	高岡市	(株)石田ジーゼル商会	0766-25-2510
	高岡市	(株)ホクジー	0766-24-8804
	黒部市	(有)雄山機器	0765-54-4703
石川県	金沢市	中川電機(株)	076-242-5141
	金沢市	(有)加賀電装	076-252-8074
	金沢市	(株)北国電装	076-255-7777
	加賀市	(有)橋本電装	0761-73-2300
	七尾市	(株)清水電機商会	0767-53-3226
	小松市	(株)中川デンソー	0761-21-1030

所在地		サービス店名	電話番号
石川県	野々市市	(株)村上電装	076-248-7606
福井県	福井市	北陸電装工業(株)	0776-24-2309
	福井市	福井電装(株)	0776-38-2758
	福井市	(有)坂井電池	0776-54-0575
	越前市	武生電池工業(株)	0778-22-1359
	小浜市	(有)京若電機工業所	0770-56-3400
静岡県	掛川市	(有)掛川太田電機	0537-23-1321
	御殿場市	(株)市野電機商会 御殿場営業所	0550-82-0857
	沼津市	(株)デンソーサービス沼津	055-922-4146
	焼津市	(株)田辺電機	054-624-2327
	裾野市	大和自動車電機産業(有)	055-993-3116
	静岡市	(株)デンソーソリューション 中部支社 静岡支店	054-267-0821
	静岡市	高岡電機工業所	054-367-1308
	袋井市	(有)長嶋電機サービス	0538-23-5299
	島田市	(有)島田太田電機	0547-36-5494
	藤枝市	(有)なかた電機工業所	054-641-0467
	藤枝市	(有)藤枝電装	054-641-6000
	浜松市	(株)太田電機商会	053-461-6644
	富士市	(株)市野電機商会	0545-63-2336
	伊東市	(株)市野電気商会 伊東営業所	0557-52-6923
長野県	佐久市	(株)佐久デンソー	0267-66-3386
	松本市	(有)丸池電機工業所	0263-58-5370
	上田市	(株)上田電装	0268-22-8077
	長野市	(株)デンソーソリューション 中部支社 長野支店	026-282-7300
	飯田市	(有)飯田電装	0265-23-2288
	松本市	(有)小林電機	0263-23-2288
愛知県	名古屋市中区	平出デンソー一部(株)	052-882-8282
	名古屋市中区	(株)大和電機工作所	052-652-3318
	名古屋市中区	(有)浅野電機	052-621-1454
	名古屋市中区	(株)中村電機商会	052-571-4581
	名古屋市中区	(株)中村電機商会 名東営業所	052-772-6511
	名古屋市中区	(有)義干電キ	052-461-8101
	名古屋市中区	名古屋電装(株) サービス工場	052-561-6425
	名古屋市中区	(株)宮田電装	052-803-1125
	名古屋市中区	(株)小島電装	052-901-7474
	名古屋市中区	(有)アイアールサービス	0568-23-3620
	豊橋市	(株)スミ電機工業所	0532-45-0220
	岡崎市	(有)いそがい電機工業所	0564-31-5571
	西尾市	河合物産(株)	0563-56-7754
	豊田市	(株)篠田商会	0565-31-0487
	豊田市	(株)愛豊電機	0565-28-1258
	刈谷市	ナカバヤシ自動車工業(株)	0566-21-3821
	東海市	小島電機(株)	052-601-2511
	瀬戸市	(有)原田バッテリー工業	0561-82-9370

所在地		サービス店名	電話番号
愛知県	春日井市	(株)サンエス	0568-31-9801
	一宮市	(有)森電機商会	0586-62-2612
	小牧市	(株)トーエイ電機	0568-73-7711
岐阜県	岐阜市	三興電通(株)	058-245-5111
	岐阜市	丸池電機(株)	058-245-3196
	羽島市	(有)羽島電装	058-392-0841
	下呂市	(株)マルイケ	0576-25-5536
	各務原市	各務原三興電機(株)	058-383-8558
	関市	(有)関三興モータース	0575-22-5888
	郡上市	郡上丸池電機(株)	0575-67-0180
	恵那市	(株)東濃デンソーサービス	0573-26-2411
	大垣市	(株)島村商会	0584-81-6100
	土岐市	(株)平和サービス	0572-54-1151
	美濃加茂市	(株)石丸電機	0574-26-1365
三重県	四日市市	(株)デンソーソリューション 中部支社 四日市サービスセンター	059-332-2443
	四日市市	(有)東海電機サービス	059-345-2670
	四日市市	(有)四日市山王サービス	059-345-5587
	松阪市	伊勢電機工業(有)	0598-51-0231
	津市	(株)デンソーソリューション 中部支社 三重支店	059-227-3261
	鈴鹿市	(有)ワカオ電装	059-378-1052
	伊賀市	(有)吉田電装	0595-45-2877
滋賀県	草津市	京滋ユアサ電機(株) 滋賀支店	077-564-0468
	長浜市	(有)飛鳥電装	0749-64-0043
	東近江市	(有)新工電機工業所	0748-22-1597
	近江八幡市	TDサービス(株)	0748-32-5145
京都府	京都市	京滋ユアサ電機(株) 本社工場 京都支店	075-671-6116
	京都市	(株)Super Energie Connection	075-661-1212
	京都市	(株)昭和電業社	075-681-9288
	京都市	(株)洛東電機	075-592-4466
	八幡市	(株)近畿冷機	075-972-1886
	福知山市	(有)福知山南丹電機	0773-22-2373
	舞鶴市	(株)佐古田電機	0773-75-3290
	久世郡	(株)Super Energie Connection 久御山営業所	0774-45-1139
大阪府	大阪市	(有)北岡電機工業所	06-6752-2493
	大阪市	加島電気(株)	06-6308-1209
	大阪市	(株)TTC関西サービスセンター	06-6473-6040
	河内長野市	(株)門林電装サービス	0721-65-6235
	岸和田市	西野電機(株)	072-437-2321
	高槻市	(株)高槻電装サービス	072-681-3282
	堺市	(株)澤田電機工業所	072-228-0001
	寝屋川市	(株)デンソーソリューション 関西支社 寝屋川サービス	072-831-3855
	寝屋川市	(株)日新電機工業所	072-826-1333
	吹田市	(株)デンソーソリューション 関西支社 江坂サービスセンター	06-6192-3010
	東大阪市	(株)デンソーソリューション 関西支社 東大阪サービスセンター	06-6747-1060

所在地		サービス店名	電話番号
大阪府	松原市	幸生電機工業(株) 南大阪サービスセンター	072-337-5575
	富田林市	(有)金剛デンソー	0721-25-3331
	枚方市	(株)大診	072-852-1351
	東大阪市	佐々木自動車工業(株)	06-6787-1628
奈良県	奈良市	(株)ミヤコ	0742-62-2721
	橿原市	(株)三ツ葉電機	0744-22-5042
	桜井市	フジデンキ(株)	0744-43-6551
	大和郡	佐々木自動車工業(株) 奈良営業所	0743-56-2400
和歌山県	和歌山市	和歌山自動車(株) デンソーテクノランド	073-444-3191
	和歌山市	(有)中筋オートボデー	073-464-1124
	御坊市	(株)テック・マルヤマ	0738-22-8046
	新宮市	マルヒロ電機商会	0735-22-9305
	有田郡	(有)小川電機商会	0737-52-3187
兵庫県	宍粟市	カメウチ電装(株)	0790-62-1607
	神戸市	関西電装機器(株) 阪神支店	078-334-6800
	神戸市	神有デンソー(株)	078-951-2600
	洲本市	坂口電機サービス	0799-22-1834
	尼崎市	尼崎ミナト電機(株)	06-6482-5711
	西宮市	電装兵庫(株)	0798-33-2282
	明石市	電装兵庫(株) 明石営業所	078-923-3088
	姫路市	関西電装機器(株)	079-253-8181
	姫路市	カメウチ電装(株) 姫路営業所	079-298-7100
	揖保郡	カメウチ電装(株) 太子営業所	079-277-3361
岡山県	岡山市	(株)デンソーソリューション 中国支社 岡山サービスセンター	086-261-6633
	岡山市	柴坂電機(株)	086-241-4270
	岡山市	庄屋電装(株)	086-228-0582
	岡山市	岡電装(有)	086-264-2776
	岡山市	井上電機(株)	086-277-3988
	倉敷市	倉敷電装(有)	086-465-3711
	津山市	(有)香山デンソー	0868-22-7434
	津山市	柴坂電機(株) 津山営業所	086-241-4270
鳥取県	鳥取市	高洋電機(有)	0857-23-6089
	鳥取市	(株)ヤマト 鳥取支店	0857-28-0211
	米子市	(有)マツバラ電装	0859-33-8344
	米子市	(株)ヤマト 米子支店	0859-27-0545
	境港市	(株)ヤマト 境港営業所	0859-46-0355
広島県	広島市	(株)竹田電機工業所	082-277-7050
	広島市	(株)竹田電機工業所 出島営業所	082-254-5481
	広島市	(株)デンソーソリューション 中国支社 広島サービスセンター	082-205-5300
	呉市	(株)富士電機工業所	0823-73-7565
	三次市	内藤電機(株)	0824-63-5354
	府中市	(有)大平電機	0847-47-1230
	福山市	(株)竹田電機工業所 福山支店	084-924-6547
山口県	山口市	(株)山口興電社	083-922-0580

所在地		サービス店名	電話番号
山口県	周南市	(株)山口興電社 徳山営業所	0834-21-0669
	岩国市	(株)山口興電社 岩国営業所	0827-21-5515
	宇部市	(株)岩佐	0836-31-2281
島根県	浜田市	多久馬電業(株)	0855-22-0200
	松江市	(株)ヤマト	0852-23-1500
	出雲市	(株)ヤマト 出雲支店	0853-23-7760
愛媛県	松山市	(株)デンソーソリューション 四国支社 愛媛支店	089-971-4511
	新居浜市	(有)新産電装	0897-41-7507
	大洲市	(有)中川電機工業所	0893-25-0617
	宇和島市	(有)竹川電機	0895-27-2172
香川県	高松市	(株)デンソーソリューション 四国支社 香川サービスセンター	087-821-6317
	仲多度郡	古河バッテリー(株)	0877-73-2188
	高松市	石原自動車(有)	087-821-8829
徳島県	徳島市	(株)デンソーソリューション 四国支社 徳島サービスセンター	088-624-7480
	阿南市	(有)サンヨー電機阿南	088-422-2259
	徳島市	(株)ケイテック	088-663-5263
高知県	高知市	(株)デンソーソリューション 四国支社 高知支店	088-878-1112
	安芸市	(有)上岡電機商会	088-734-1711
	須崎市	(有)奥谷電装	088-942-8579
福岡県	みやま市	松木デンソーサービス	0944-63-6300
	久留米市	(株)デンソーソリューション 九州支社 久留米サービスセンター	0942-35-3989
	久留米市	(有)寺崎デンソー	0942-44-1953
	田川市	福勝電装(株)	0947-45-5968
	福岡市	(株)デンソーソリューション 九州支社 福岡東サービスセンター	092-938-6164
	小郡市	(有)江崎電機	0942-73-1144
	飯塚市	(有)飯塚電装	0948-22-3163
	福岡市	神戸電池(株)	092-651-7861
	北九州市	(有)石井ヂーゼル	093-591-3131
	北九州市	(株)那智商会	093-641-4123
	北九州市	(株)香月電機	093-881-4260
	北九州市	(株)シムズテック	093-562-2171
	柳川市	(有)田代バッテリー	0944-73-3935
佐賀県	佐賀市	(株)モトシマ デンソー部	0952-40-8011
	鳥栖市	黒田電機	0942-83-2966
	伊万里市	(有)吉永電機	0955-23-3092
	佐賀市	(株)モトシマ	0952-26-2121
長崎県	佐世保市	(株)古川電機製作所	0956-31-3123
	長崎市	山田電機工業(株)	095-824-2891
	島原市	(有)湊電機工業所	0957-62-2086
	諫早市	(株)宮崎電機工業	0957-46-8800
熊本県	熊本市	(株)デンソーソリューション 九州支社 熊本支店	096-328-3221
	熊本市	(株)福永自動車工業	096-357-1333
	八代郡	(株)土山電機	0965-62-2283
	天草市	(株)太陽	0969-22-5117
大分県	大分市	(株)ヂーゼル精機	097-569-1991

所在地		サービス店名	電話番号
大分県	大分市	(有)エフ・ケイメカニックス	097-522-7555
	大分市	(有)おおたに電装	097-551-8569
	中津市	(有)東和電機工業所	0979-24-5311
	宇佐市	宇佐ヂーゼル機器	0978-38-0232
	佐伯市	(有)佐伯岩波	0972-23-6878
	竹田市	(有)森電装	0974-63-0222
	玖珠郡	小野バッテリー商会	0973-76-2168
宮崎県	宮崎市	(株)宮崎デンソー	0985-24-1322
	延岡市	(株)田上バッテリー電装社	0982-34-3200
	児湯郡	(有)若山デンソー	0983-22-2006
	小林市	(有)小林デンソー	0984-23-9236
	都城市	(有)大王電機商会	0986-22-2373
	都城市	(有)都城・デンソー	0986-23-5071
	都城市	(有)東栄電機商会	0986-38-2566
	日向市	(株)電工社	0982-52-4145
	西都市	(株)西都電工社	0983-43-0192
鹿児島県	鹿児島市	水洩電機(株)	099-222-0141
	鹿児島市	水洩電機(株) 南支店	099-252-2346
	鹿児島市	水洩電機(株) 団地工場	099-261-8500
	鹿児島市	シントコ電機(有)	099-252-2515
	枕崎市	(有)野村電機	0993-72-1593
	曽於市	(有)大隅自動車電機	099-482-0349
沖縄県	浦添市	(株)デンソーサービス沖縄	098-877-4655
	名護市	(有)名護電機	0980-52-0989
	那覇市	(株)アニヤデンキ	098-867-5678
	沖縄市	(有)新垣電機	098-932-5800

MEMO

MEMO

MEMO

12か月定期点検整備記録簿

分解整備記録簿

該当なし	異常なし	交換	修付	清掃	C
調整	A	修理	△	分解	L
				給油	L
				省路	P

点検の結果および(分解)整備の概要

■電気点検

☐	非常警報ブザーの作動
☐	ルームランプのON/OFF
☐	半ドア警告灯のON/OFF
☐	トッパマーカーランプ・
	サイドマーカーランプのON/OFF

■ドア点検

☐	・バックドア
☐	開閉時の作動状態
☐	シールの摩耗・破れ

■リヤボデー点検

☐	内外板の錆・破損・異常な浮き上がり
☐	スラップの曲がり・破損・スラーの変形
☐	シャシとの締結ボルトの締め付け
☐	ボデー床下フレーム締結ボルトの締め付け
☐	水抜きホースの変形・つぶれ
☐	マウンティング部のシムの摩耗

■冷凍装置点検

☐	Vベルトの摩耗・損傷・張り具合
--------------------------	-----------------

・冷媒量

☐	サイトグラスの気泡確認
☐	ガスめれ

・コンデンサ

☐	フィン部の目詰まり
☐	モータ作動状態

☐	コントロールパネルの作動状態
--------------------------	----------------

・クーリングユニット

☐	フィン部の目詰まり
☐	モータ作動状態
☐	ドレンホース

☐	各部取付部のゆるみ・ガタ
--------------------------	--------------

・コンプレッサ

☐	作動状態
--------------------------	------

・コンプレッサブラケット

☐	ブラケット破損・ボルトのゆるみ
--------------------------	-----------------

☐	マグネットクラッチの作動状態
--------------------------	----------------

☐	高低圧ホースの取付状態・損傷
--------------------------	----------------

☐	アイドルブーリの作動状態
--------------------------	--------------

☐	ワイヤハーネス接線部のゆるみ・損傷
--------------------------	-------------------

☐	アイドルアップの作動状態
--------------------------	--------------

☐	スタンバイコンプレッサの 作動状態(スタンバイ付き車のみ)
--------------------------	----------------------------------

■6000時間ごとの交換

☐	コンデンサモータ (最大積載量2t以上の ロングボデー車を除く中温用 セパレート型冷凍機搭載車)
--------------------------	---

■8000時間ごとの交換

☐	クーリングモータの交換
☐	コンデンサモータの交換 (パッケージ型冷凍機搭載車)
☐	コンプレッサのオーバーホール
☐	高低圧ホースの交換
☐	アイドルブーリの交換
☐	レシーバの交換

■11000時間ごとの交換

☐	スタンバイコンプレッサの交換 (スタンバイ付き車のみ)
--------------------------	--------------------------------

■16000時間ごとの交換

☐	マグネットクラッチの交換
--------------------------	--------------

■24000時間ごとの交換

☐	コンデンサモータ (上記、交換時期6000時間 対象車種を除くセパレート型 冷凍機搭載車)
--------------------------	--

■その他必要となった点検整備の
内容および主な交換部品

ボデー式	
架装物名	低温 中温 冷凍車
ボデーNo.	
お客様の 業種・組織名	
架 装 メーカー名	ボデー：トヨタ車体(株) 冷凍機：(株)デンソー

氏名又は名称	依頼者の氏名又は名称及び住所
住所	

メンテナン스에關するアドバイス	
型 式	初年度登録または初年度検査年度
自動車登録番号又は車両番号 (左記の無い車両にあっては、車台番号)	

氏名又は名称	自動車分解整備事業者の氏名又は名称及び事業場の所在地
--------	----------------------------

事業場の所在地

認証又は指定番号	点検の年月日
分解整備 (点検) 時の総走行距離	年 月 日
km	整備を完了した年月日
	年 月 日
整備主任者の氏名	

低温、中温 冷凍車

(ボデー：トヨタ車体制、冷凍機：デンソー製)

適用車種	トヨタ ダイナ、日野 デュトロ
------	-----------------



車両の仕様等の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください。

〈本書の内容のお問い合わせは下記へお願いいたします〉

商用事業部

TEL (0566) 36-2497 FAX (0566) 36-2498